

昭和四十二年三月招集

第一回市議定例會會議錄(第六号)



館山市議會第一回定例会會議錄(第六号)

昭和四十三年三月招集

三月二十一日(木曜日)

一 議事日程(第六号)

議案第四号 昭和四十三年度館山市一般會計予算

議案第五号 昭和四十三年度館山市国民健康保険特別會計予算

議案第六号 昭和四十三年度館山市簡易水道事業特別會計予算

議案第七号 昭和四十三年度館山市之商場特別會計予算

議案第八号 昭和四十三年度館山市休養施設特別會計予算

議案第九号 昭和四十三年度館山市第二木ステル特別會計予算

算

議案第十号 昭和四十三年度館山市南部簡易水道事業特別

會計予算

午前十時十五分 開議

議長(吉田勇治郎君)本日ヨル出席議員数 二十六名

二ヨリ第一回市議会定例会第六日の会議を開会  
いたします。

本日ヨリ議事はお手元に配付ヨリ日程表により行ないます。  
目程第一議案第四号乃至第十号 昭和四十三年度一  
般会計並びに特別会計予算を一括して議題とい  
えます。

ただいま議題となりまゐる各予算案ヲ審議方法  
についておはかりいたします。

まず第四号議案ヨリ一般会計予算を歳出と歳  
入ト分け、最初に歳出の部ヨリ質疑を行ないます。  
次に歳入の部、第五号以下即ち特別会計予算



は各会計ごとに歳入歳出を一括して上程するという  
議事の進行方法といたらないと思ひます。

こゝに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉田勇治郎君) 異議なしと認めます。よって決定  
いたします。

こゝより議案第四号一般会計予算の歳出の部より  
質疑を行ないます。

なお発言の順序はペーシをお示しくださるようお願い  
申し上げます。

なお申し上げます。市長よりこゝに於て訂正の発  
言がございまして、暫時発言を許します。

財政課長(長谷川広治君) 大変御迷惑をおかけいたし  
申しわけございませんが、予算のうち訂正箇所が発

見せました。御訂正いただきます。思ひます。  
八二ページ職員手当欄でございすが、四百四十二万  
五千円となっておりますが、四百十四万五千円でござい  
ますので御訂正をいただきます。思ひます。

八六ページ十四雜節使用料及び賃借料の欄に  
六万六千円となっておりますが、一万六千円の誤まりで  
ございします。付記の欄にブル借り上げ料五万と追  
加いただきます。それを削除していただきます。思ひます。  
以上でございします。

議長(吉田勇治郎君)以上でございします。質疑を求めます。  
二番(小柴孝君)質問の内容はさわめて簡単でござい  
ます。明解なる御答弁をいただきます。思ひます。  
九五ページ林業費、委託料百八十万計上してござい

ますが、この問題につきまゝでは昨年の予算市会に  
おいても質問したわけでございますが、現在地元等でや  
つておりますところの松食い虫の駆除は被害を受けた  
木だけを駆除しておる。本気にならず枯れた松の処理  
をしておるやうでございますが、果たしてこれでいいか。  
今、五年、十年位たった松の木がたくさんございませうが、  
こういう松に対する事前の処理がほとんどできてない  
というところで毎年毎年松食い虫に荒されて荒さ  
れぬと始末をしておる現状でございます。これが果  
方針、市としてこれを委任して本年もやるかという問題  
でございます。この点について答弁願います。

次に一〇ページ土木費でございますが、工事請負費に  
九百八十五万三千円とございますが、内容説明がござい  
ませんやう。どう工事をやるか、これを御説明いた

だきたい。

一〇八ページ。工事請負費、六百八十五千円、橋梁、新設改良費、この内容説明がはっきりしておりません。説明していただきたい。

それから一〇九ページ。都市計画費。この全般を通じて内容はおかれますが、都市計画税を納めております。特に農村関係といいたまいて果たして都市計画税というものはかかる面で還元される計画が実施されておるかということでございます。

都市計画税の使用法、極端にいいますと、農村の方では中心にばかり、これを使われておって、農村の方には税金を納めておるけれども、お返しがないという事が相当あるわけですが、こういう問題について、御答弁願いたいと思います。

・農林水産課長（伊藤幸太郎君）お答えを申し上げます。

いろいろお話がございまして、松食い虫の防除が問題でございしますが、私も非常に二点につきまゝては、若くしてあるわけでございします。

現状におきましては、ただ今お話にございまして、被害木の伐採と薬剤散布という手段しか取らないうち、わけても、お話しと、単に被害木の駆除だけに止まること、松食い虫の根絶に、いろいろな問題が出てくるわけでございます。

四十二年度以降におきましては、現状の被害木の伐採だけでなく、いわゆる病気に、かかっておられない松の方策も、果て方、で考えておるようでございます。

一つ、例を申し上げますと、特に風致林として、果てのおもな個所につきまゝては、まず、最初の方針と

また徹底的な脱除対策を立てたいということ  
で現在方針を進めておるようでございます。

でございます。これに伴いまして市におきま  
してもその方針に基づいて今後の新しい脱除方  
法について検討して参りたい。かように考えております。  
以上でございます。

・土木課長(飯田治男君) 土木費の新設改良費工事請  
負費の内容について説明申し上げます。

道路改良工事といつて、大路線を計画してお  
ります。その内訳でございますが、市道一三四号  
線、これは赤松から宮城地区に抜ける道路、現在  
道幅が狭いため、車両も入らないう状態でございます。  
すなわ、それを約四メートル幅、一五メートル改良  
しようというものでございます。

市道、山萩、古茂口線、ニハは前年度に引き続き  
まゝで延長一五メートル改良するうでございます。  
九重、竹原地内に横枕、大鐘線、ニハは消防車も  
入らない状態なうで四メートル幅、今年度一四メ  
ートル改良しようというもなうございます。

市道、山萩、古茂口線、ニハは前年度に引き続き  
まゝで延長一五メートル改良するうでございます。  
九重、竹原地内に横枕、大鐘線、ニハは消防車  
も入らない状態なうで四メートル幅、今年度一四メ  
ートル改良しようというもなうございます。

山萩にございます。大戸畑線、前年度に引き続き  
まゝで五メートル幅、一六メートル改良しようとする  
もなうございます。

市道、東長田線、ニハは東長田地内にございます。

市道でございまして、前年度に引き続きまして、  
四メートルで約二メートル改良しようというもので  
ございます。

それから見物、小沼線、果道う西岬から分岐して  
小沼う方に向う道路でございしますが、これは毎年度  
改良計画をもちておりますが、新年度一部分を  
改良しまして果道う分岐点から一五メートルの間  
舗装しようというものでございます。

それから舗装工事としましては、市道二一五号線、  
これは三福寺橋から二中に通ずる通学道路で  
ございしますが、これを約二メートル舗装しよう  
というものでございます。

それから、リ名地内にございします市道二五九号  
線、これは船形う信用金庫う脇う道でございま



して二いを一回メートル舗装いたします。

市道一ハ六号線新宿地内、新宿の踏切から、  
青山商店の倉庫の方に通ずる道でございまして  
二いを約一メートル四・五メートル、幅で舗装  
しようというもございまして。

長須賀地内の市道九二号線、二いは金八から、  
測候所を通り東電に通ずる道路を約一丈  
メートル舗装しようというもございまして。

八幡地内にございましてハ幡線、前年度に引き続きま  
して約一メートル舗装しようというものでござい  
ます。

九重の箇にございまして、<sup>前</sup>箇、竹原線、二いは最近交  
通量も多く農協の前から竹原に向かつて約三  
メートル本年度舗装したいと思っております。

北条地内、長須賀北条線、畜産会館から国道の方に向かつていく市道でございしますが、これを約二キロメートル、本年度において舗装したいと思ひます。以上道路新設改良費工事請負費の内容を御説明申し上げました。

次、橋梁新設改良費でございしますが、これは、正木稻線、稻腰越地内にございする箱橋を永久橋にかけかえたいと思ひます。その内容、現在木橋で相当いたみもひどく、現在制限荷重を二トンということで地元のみなさんにも御迷惑を掛けておる次第で、その脇に橋台二基を新たに作りまして一月間でかけなおそうという計画でございまして、それに伴ひまして取り付け道路約一キロメートル現在曲りくわておるところをまっすぐ

取り付けようとするものでございます。以上が橋梁  
新設改良費についての御説明でございます。

・市長(本間謙君)都市計画税につきまゝではおそろく  
旧村地帯の方も相当の額を納めておるわけでご  
ございますが、それらがどうふうに使われているかとい  
うことのお尋ねではいかと思つたわけでございます  
が私はさういふことを考えまゝて旧村ばかりでは  
ございませぬけれども市街地の方は相当道路も  
舗装化されていふなりつつあるわけでございます  
すけれども旧村地帯の市道が非常に狭路で  
救急車或いは消防車が入りかねる道路がたぐさ  
んあるわけでございます。さういふ道路を<sup>逐</sup>次解消  
して消防車、或いは救急車の通行にも因へるに  
応ずるようになした。なおまた舗装も市街地は

見ん見んがやいますけれども旧村地帯でも重要な  
地点に對しましては、要望に添えてやう参りたいと  
考へておるんですが、たとえば旧村の学校や村舎とか  
交通の便はんなどところに対しては、舗装いたして参  
りたい。三つの方針のもとに現在對処してあるわ  
けでございますが、旧村地帯の方でも御要  
等ございまして、検討して実現をはかりたい。  
三つうふうの考へておる次第でございます。

二番（小柴孝君）松食の虫の問題でございますが、  
課長からの説明で大要はわかったような気がする  
んですが、突込んで見ますと、何年か前から松  
食の虫はあったわけで、現在枯れた松の処理を  
生きている松の処理が得意なというのが、實  
の要点でございますが、全然、どういう方向でやる

かという二とはまだ検討されておられませんか。二ううう方法  
てやつたらいいんではないかという位は松の木ですから  
十年もたちますと、相当大きな松になります  
個人的にはなかなかむづかしい場合があるわけですが  
ますぐにもう一歩、具体的に御説明願えばいいと  
思います。

それから土木課長、お答え、工事請負費でございま  
すが、丁承いたしまして、市長さんにお答えですが  
舗装或いは市道を拡張する。そういう方面に将  
来農村地帯をやっていくのだという二とは、私、又句な  
しに賛意を表するわけですが、ただ問題は極  
端に申しますと、舗装すべき道路、そのもうが、  
道幅が四メートル位、道を果たして舗装して効  
果があるだろうかという二ことと、それから市道は農

村地帯にたくさんございます。距離も離れて  
 おる。それから部落外に市道があるわけで、部落  
 内はめんどうを見てよくなるんですが、遠く離れた  
 九重地区やうな場合、半日も歩いて、その工事  
 一かけよばならないところがあるわけで、こういうところは  
 舗装していただくことは結構ですが、私の質問  
 は結局都市計画費の中に、そういう事項が含  
 まれておりません。ただいま申し上げたような  
 質問が出たわけでございまして、都市計画の中  
 に、こういう点を織り込んでいただくなら、一日曠  
 然、よくわかるわけでございしますが、一般市民のみな  
 さんが考えておることは、都市計画税を納めて  
 おるけれども、どういふ方面に還元されておるの  
 か、こういうことをみんな考えておるわけで、御質

問—たわけであります。できることなら、どんどん進めて  
いただきたいんですが、予算の関係がございます。そ  
逐次やるのだという市長のお答えで、施政方針演  
説にもそういう内容が述べられておりますので、わか  
ります。が、都市計画費の中に盛らるとよくわかり  
ます。今後御検討をいただきたいと思います。が、松食  
い虫の問題をもう一回。

・農林水産課長（伊藤幸太郎君）お答え申し上げます。  
先ほども申し上げたとおり、松食い虫の駆除に  
つきまわしては、地元の皆さん方の御協力をいた  
だいておるわけでございますが、なかなか計画通り  
の実施が困難な面もあるわけでございます。  
従いまして、現状に至るまでの間は、先ほど申し上げ  
まいたとおり、被害木を切り倒し、まして薬品

をわけて堅除して参ろうという方針で今まで  
参ったわけでございますが、今後の問題としまして  
は、やはりお話にもございまして、現在松食  
いにかかすおられない幼木、或いは青い松に対して  
どういうふうにするか、大きな問題であると思ひます  
前々からその点が言われておりまして、たゞ経済的の面  
或いは勞力の面でいへば多大な経費もかかること  
でございますが、なかなか踏み切れないか、つたといふ  
点もございします。

かつてはヘリコプター等で空中散布も実施したわ  
けでございします。一か一ながら経費の割合には  
効果が非常に薄かったという現状もございします  
で、今後は新しい角度で果におきましても、青  
い木に対する堅除方法について、現在方策を立て



つつあるわけであります。であります。市におきま  
しても、その方針に基きまして、市独自の考え、方等も  
検討いたしまして、た上で、やむを得ない御協力をいただい  
て、新しい方法をもって、徐々に、このような問題に取  
組んで参りたい。こんなふうにならうと考えておるわけであ  
ります。方法としましては、一つ、創を申し上げますと  
果におきましては、果費をもつてある一定の指定区  
域を徹底的に防除しようという案を持ってお  
るようでございます。一、カーナダ、これを全面的に果  
下一斉に、ただちに実施というものは困難でございます  
ので、ある期間を限り、ある地域を限りまして、駆除  
方法を立てようという方針を打ち立てておるようで  
ございます。それらが決定いたしまして、た後におき  
まして、市におきまして、その方針に従いまして、今

お話の出来たような点について十分考えていただき、ただ四十三年度当初におきましてはやはり被害木駆除も並行してやり参りたい。こんなふうを考えております。

三番（鴻田石蔵君）教育費関係で二点、それから安房郡広域連絡協議会負担金について一点、この三点をお伺いいたします。

一、二、四、一、三、三項、学校建設費でございますが、その工事情負費四千八百三十八万八千円とありまして説明に房南中学建設、豊房中学校長室、四中が二つ、三つというふうになっておりますが、この四千八百二十三万八千円の二に充てる額、細分をお聞かせ願いたいと思っております。なお、房南中学校の建設について、昭和四十二年、四十三年度の継続事業で

ありまして、その総額が残うになるか。それもお南か  
せ願いたいと思います。なお、房南中学校については  
私地元として議会に出る前からこのことについて関係  
しておりましたもので、非常に関心を持って  
おるわけでございますが、この工事はいつまでに完成して  
いただけるか。その心づもりはどういうことになつてお  
るかということをお聞かせ願いたいと思います。

次に市民センターのことでございますが、市民センターの総額  
が九百万となつておりますが、その中で開館の費用とか  
ふるさとり歌まふり等の費用が百万円と説明であつた  
と思いますが、そうしますと、市民センターは残る八百  
万円でこれを運営するということになると思いますが、  
この八百万円というものは、市民センターの運営は新しい  
仕事でございますから、この予算等についても入念

に計画されたと思いますが、この額は、これで十分とは言えないまでも、やり得るという自信、予算であるかどうか、この点ともう一つ、市民センターは、ミニ給料、職員手当というものがあってありますけれども、実際には何人でこれを受け持つのか、この点をお願いいたします。

なお市民センターについて、予算が編成でございまして、けれども、この市民センターの内容が文化体育の向上というふうなことで、その内容が社会教育の一面に属するということ、この社会教育費の中に組んであると私は思っていますけれども、条例に、建築課の下に市民センターを置くというふうな条例改正もありました。以後市民センターの運営費は、社会教育費の中に今後とも組むお考えであるかどうか、この点を

お伺いたします。

その次に五ページでございますが、安房郡市広域行政連絡協議会負担金というものが、二十万九千円組んであるわけでございますが、昨年の十月からスタートして本間市長さんが協議会長であるということでございますが、広域行政連絡協議会、またる目的はこういう目的であるか、道路行政とか、水道行政とか、或いは町村合併といういろいろなことがあられるけれども、またるころうい目的は何であるか、一かも広域行政というものがどう位、期間一年とか二年とか、五年とか、こういうめやすが書いておられて、こういう協議会が作られておるのかどうか、この点をお伺いしたいと思っておりますわけです。以上、三頁。

教育委員会庶務課長（千場伊左衛門君）　まず第一点

の中学校費の学校建設費、工事請負費の關係でございますが、二二の四十八百二十三万八千円という額が計上されておりますが、二二は二二にも書いてありますように房南中学、豊房中学、田中關係のうちでございます。

房南中学については四十三年度より予算におきまして二千四十万をお願いして、そのうち坪数で三百十坪、七五二坪、九坪を入れたら、四十三年度分については、坪数大百三十四坪を予定しております。そのほか、豊房中学の分としましては五・五坪、田中より体育倉庫については約十坪、それから便所約二坪、二小を予定しておりますが、この金額の關係については、ふはり入れとか、そういう關係がございますので、個々

金額の明示はひかえさせていただきます。

それから房南中学の完成の時期でございしますが、この予算の通過後、ただちに設計に取りかかっていただきます。そして大体四十三年中に完成したい。こういうふうな考えでおります。

教育長(押本禧逸君) 市民センター関係についてちつと申し上げますが、市民センターはもともと、体育、文化、その他の教育に関する面が非常に強うございまして、このセンター予算は教育委員会や社会教育費の中に編成を——提案してきたわけでございすけれども、いまは、この完成のあかつきには、市や市長部局のついで課というふうな形で進むということになるわけでございす。細かいことは、財政課長さんにお答えをいただきたいと思います。

財政課長（長谷川広治君）予算の編成関係でござい  
ます。が、特定の目的と申しますか、そういうものを持たない  
ようなセンターであれば、総務費或いは、その他の適当な課  
目に予算の組みかえということも考えられますが、一応、文化  
体育月というように、社会教育の方面においてはおいたも  
うございまして、教育費の中で編成はして参り  
たいと考えておりますが、特別に項を設けるかどう  
かという二点は、その時点で、またいろいろ御相談を  
申し上げて決定をいたしたいと思っております。いずれに  
しても、現存するような性格を持つおれば、教育費  
の中で編成をいたして参りない、こういう考えも持  
っております。

人事課長（小沢正治君）市民センターに關します問題  
でございまして、ただいま御質問のありまして、百



万円が開録費であれば八百万円でセンターの運営が行なわれるわけである。その中で人件費が相当の割合を占めるとすれば何年で運用されていかぬ。この経費で確信を持った年間、運営を考えておるかという点でございしますが、結論を先に申し上げますと確信はございません。と申しまうのは、このセンターの建設にあたりまして、不先進地を視察して参りました。それらを十分参考に取り入れ、さらに市独自の特色を持ったセンター。そういう運営というものを考えて検討を繰り返して参ったわけでございまして、けれども問題は利用状況如何、収入状況如何というものが一つのポイントになるわけでございまして、そういう関係から、最少数の人員で、節約された経費の中で市民のたぐいセンター運営を既慮すると

いうのが基本方針でございます。そういう関係  
 から或いは不可能かも知れないという最低人員  
 を計画しておるわけでございます。従いまして開  
 館当初は需要と関係からいたしまして人員を  
 配置し過ぎたという形になってはまずいという点で  
 最低人員といたしまして館長以下三名の事務員  
 配置でございます。その他の技術職員或いは臨  
 時的な職員で当分まかなえるという人員につま  
 しては、ここにございますように賃金で臨時的に配  
 置していく。その上に立って一年たり半年たり経過  
 して見ますれば大体、このセンターはどのような人員配  
 置で運営可能であるか、不可能であるか、結論  
 はおろすから出て来る。そういう実態を経緯を経  
 た上で最低の固定数は確定してという。そういう

方針でございます。従いまう。この予算で年間総  
体まかなうかと言わねえ見ますと。結論として確  
信はございませんと申し上げた方が早かろうと思ひます  
たゞ方針といふは――私ども、どうしように考えておる  
わけでございます。六ヵ月後、八ヵ月後に非常に  
需要が多くて、これでは、どうして間に合わぬ。十人なり  
十五人なり配置をすべきだということ。その時点で  
増員議決をいただいて配置いたして参りたい。こゝよう  
に考えております。

企画課長（谷見茂生君）広域行政につきまうてお答え申し上  
げます。広域行政は、道路交通網の発達により  
まうて住民の生活圏というものが非常に拡大されて  
きてゐるということから、旧来の行政区域への公共投資  
というものが住民の需要に満足できなくなつてきてゐる

という状況。一かも事業。そのものが数カ町村で共  
 同であった場合には非常に経済的に効率的に揮  
 揮はできるといふ財政面等々関係と。それから行  
 政区々境に住んでおる人たちは隣、町村と非常に  
 密接であるといふ。ことから仕事は行政圏でなくとも  
 と広い面で配慮を行わなければならぬ状態になり  
 つつあるわけでございます。そういったことから町村合併  
 の問題にもからんで参りますけれども、安房郡  
 におきま—ては、鋸南地区、朝来地域、長狭地域、三  
 浦、アロツが共同でもう、いろいろの仕事を含めておろ  
 きておるんですが、これをもうケー、広域的な立  
 場から安房郡一本化した組織でもう、いろいろな仕  
 事を—ていった方がより効率的である考え方から  
 いろいろ検討されてきた結果、安房郡市一本化した

安房郡市広域行政連絡協議会というものができたわけでございます。

過去三ブロックで行なわれました施設等を見ますと、処理とか、いんあい焼却炉、それから共同研修とかいろいろな仕事が上がられるわけでございますが、仕事の内容によります。たとえば館山市場合、水道を白灰と館山と三芳あたりを含んだ地域をもつて一本化した方が効率的であるとか、今まで三芳と一つなかりにおいておられますが、今度、那古船形地域が三芳、富浦と共同でもつて、水道を組んだわけでございますが、そうように、仕事の一つ一つが必ずしも同一区域に限らずある仕事については三カ町村、別々仕事については数カ町村でやった方がいいという二つもあるわけでございまして、今後教育とか、観光とか、環境衛生とか

あらゆる面について総合的立場から検討しながら  
 政策的にとつちが有利であるかとか、住民福祉のた  
 めにどうしたらいいかということを検討して、こうと  
 いうことで発足してゐるわけですが、それに市  
 も加入いたしまして、予算についても、負担金等でも  
 お願いしておるわけでございますが、事業につきま  
 ては、その協議会の中で専門部会がございまして  
 その専門部会で各仕事の内容等を検討しまして  
 最終的にそれを一本化した協会の中で、これを要上  
 げていくべきかどうかという結論的なものを作る  
 まして、そうして広域行政計画ということ、四十三年  
 度のうちに、それをまとめたいということ、で進んで  
 おります。

なお経費につきましても、人口割、均等割、財政

規模に応じたものを基準にいたしまして計算された結果が今回お願いしております負担金の額でございます。以上でございます。

・三番(嶋田石蔵君) 学校建設のことについては今後入れ等があるも、各分野が幾らということとはここでは答弁できません。と思います。二つです。承ります。

それから、房南中学の完成が四十三年度中にといい、ことでございますが、当然四十三年度に予算化されておるから、その年度に終結するような計画であるという。お答えでございますが、二つはなかなか。ここで言うことはできないかもしれませんが、大体この予算がはっきりして、その後急ピッチで十月頃まではとわ、十二月まではとわ、そういう目安がつかないかどうか、この点もう一回伺います。それから

もう一つ。そういう計画が進みますと非常に校地が狭くなってくるが、旧校舎を取りかたづけけというのが、一つ問題になつてくると思ひます。その点について、計画はどうなされておるか。この点も付け加えて伺いたいと思ひます。

それと市民センターについては、今年始まつたこととて、いろいろ問題点もあらうと思ひますので、ただいま、答弁を了承いたします。

それから広域行政のことについて、私は広域行政というのは、市長さんが会長でもあるが、或いは、そのポイントが町村合併のやうなことに、エイトがかかつておるのではないかと、いうやうな考え方をしておつたんです。今、各課長の話では、いろいろ事業の広域化、というやうなことに重点があるやうに、大体伺つたが、



ございますが、この広域行政についても今年度中に結論を出したいというふうなお話でございまして、この点も一応了承いたします。あと学校建設のことに  
ついて御答弁をいただきたいと思います。

・教育長（押本禧逸君）房南中学校の建築の件でござい  
ますけれども、ただいま工事に取つかけておりますが、  
教室を専門といた一棟でございしますが、引き続いて管理  
室、それから特別教室、こういう棟ができるわけでござ  
いしますが、これについては設計をなるべく急いでいた  
だきまゝ、なるべく早い時期に次の工事が遅くとも  
四十三年度のうちには、でき上るように関係の  
課と連絡を取りまゝ進めていきたい。こういう気持ち  
でおります。なお今使っております校舎でござい  
ますけれども、これは建築が済みましたのちになる

べく早く取りかたづけをしなければならぬ。こういう  
きまりにもなっておりますが、そういう措置を取  
りたいと思っております。

三番(嶋田石蔵君)大体了承いたしまして、この予算  
の中には、旧校舎の取りかたづけというものは入ってい  
るかい、ないか伺います。

教育委員会庶務課長(千場伊右エ門君)取りかたづけと  
して約五十万を見込んであります。

三番(嶋田石蔵君)今五十万ということを開きまして、たか  
あよを取りかたづけるのに五十万でできるかどうか、  
ということをお伺いいたします。

教育委員会庶務課長(千場伊右エ門君)あの関係の  
ものを全部市でやるとすれば、この金額ではできな  
いと思いますが、あよを払い下げするとか、ほかの方法

で撤去するという二点を一応考えてとりあえず約五十万  
を見込んだものをございます。

三番(鳴田石蔵君)了承いたします。

一八番(安西益男君)最初に九四ページ農林水産業費の  
うち農地費の關係になると思いますが、十六節の  
原材料費百万円、コンクリート費、し字溝、その他  
とござりますが、二の内容についてお聞かせ願いた  
いと思ひます。

。農林水産課長(伊藤幸太郎君)お答へ申し上げます。  
二の原材料費は大体年間 百万程度のもうを見  
込みまして農道や改修、或いは用排水路の修理、  
そういう小規模な仕事に對しまして材料を一括  
購入いたしまして、部落の方に差上げておるとい  
う性質のものでございまして、大体年間で見込め

量を百万円とおさえましてゐてゐるわけでございます。

一八番(安西益男君) さて伺いたいと思うんですが、これは豊房の山萩の農道にかけられてゐる橋があるわけですが、この橋が最近是非常な危険な状態にある。いかにもこれは四年乃至五年前に市から材料を補給していただいて作ったものでありますけれども、最近に至つてまた危険な状態になつてゐるという事で、市に部落の人たちから陳情があつたという事を聞いておりますけれども、その農道の修復の材料供給という点について、これに含まれてゐるかどうか。これを伺いたいと思います。

農林水産課長(伊藤孝太郎君) ただいま山萩の橋の問

題でございますが、これは前々からこのような問題で  
聞きました。あります。現場を校証いたしまして、原材  
料費で交付をいたしまして、部落の方にもうただけ  
る仕事かどうか。或いは正式に工事費として組みま  
さうなくてはならない性質のものか。それらについて、現場を  
見たわけでございますが、その結論は出ておりません。  
早急にこれは四十二年度乃至四十三年度の当初におき  
まして、善処して参りたい。かように考えておるわけでござ  
います。

一八番(安西益男君)是非、そう早急にお願いたいのと思  
うわけでございます。

それからホームページ、民生費について伺いたい。特に生活  
扶助費等についてお尋ねしたい。このような思  
いが、生活扶助費の中におきまして、先般四十三

二月四日に福祉事務所から、保護家庭の中学生卒業生に対して就職する子供さんに対して支度の費用を援助するという連絡がいつておるといふようなことでありまして、非常にいいことだ。これは年々こういうたことは続けていただけるかどうか、まず、その点からお伺いたい。

福祉事務所長（池田亮山君）お答え申し上げます。

ただいま御質問の就職仕度金の問題でございますが、これは当然生活扶助費の中に入っております。いわゆる義務的と申しますか、生活扶助の算定基準の中に入っております。これは当然毎年行なわれていくものでございます。

一八番（安西益男君）そこで先般十六日より通告質問の際におきまして、このようななお尋ねをいたわけでございますが、

聞くところによりますと三月十四日に就職う子供さんに被服を支給するやうで、九時に市役所に集まるやうに三つうやう打集給があつたと聞いておりますが、その点はいかがですか。

・福祉事務所長(池田亮山君) 服や現物をという事でございまして、現物を支給いたしません。現金で支給しております。

・八番(安西益男君) 現金はそうしますと一様な額で上げるといふことであります。

・福祉事務所長(池田亮山君) そう金額でありますか。規定されております。小学校に入学する場合や就学衣服費は確か三千円だたと記憶しております。

中学校へ入学の場合は四千円だたと記憶しております。それが保護基準でございます。その範囲内ということ

でござります。

二八番(安西益男君) 現金支給という事で、この制度は非常に結構なことだと、このように思いますが、先づてもこの席上におきまして本人から十四日、九時に集合してというのを聞きまして、大へん恐縮ですが、念を押して今聞いて見たわけです。その点はよくわかりました。そこでやはり、今後、運送に当りまして再三お願いしておりますことは、運送上職員、そういった人たちの態度、そういうものをよく検討さしめて、何かやはり行き過ぎ、先般も申し上げましたとおり、そういう事態がたまにに聞いておりますので、十分検討、指導、徹底さしまた監督さして、その任に当たっていただきたい。かようにお願いして質問を終ります。



議長(吉田勇治郎君)市長より発言を求められておりますが、  
暫時これを許します。

市長(本間讓君)鳩田議員より先ほどのような質問に対して  
なつと申し上げます。

館山市、安房郡より広域行政の中において町村合併を  
推進していくつもりかというお尋ねのように考え  
ておりますが、ただいま各課長からいろいろ具体的町  
がごついましたか、その中において適正規模の町村合  
併をぜひとも推進して安房郡、館山市を二つとか、  
三つとか、これから検討するという、それを是非実現をいた  
さない。

現在館山市におきましても館山市はどういう形態にな  
ける経済圏、或いは行政のことが適正であるか。

こういうことを現在調査をしております、館山市自体

のいき方について検討をしておりますが大体市側  
としてまとまり次第に議員の方々にまた検討願いま  
してどうして館山市の方針を決定いたしまして  
その協議会の中で推進をしております。こういう  
うに考えておりますが、これは云々、館山ばかりでな  
く、やはり安房郡市、合併をその中において検討  
していきたい。

私は広域行政協議会というものは、端的にいえば、町村  
合併をする一つの手段と解釈しております。また  
そういうふうにもう参りたいと考えております。で  
き得れば館山市はもちろんです。が、ほかの地域も  
四十三年度中には、それらの関係を自ら鼻をつけて輪  
郭をつけて参りたい。こういうふうに考えておるわけで  
ございます。いろいろの仕事をたえば、消防の合併

とかいんあ焼却炉——尿処理水道とかを共同で  
やるということには私はそにいく手段やうに解釈して  
おりますが、その中において適正規模の時代に即  
応した経済圏或いは行政を考慮してやうに参りたい  
この町村合併は広域行政の中において大きく考えて  
こゝ実現をはかりたい。三ノうに考えております。  
。二五番(田村源治郎君)四点ばかりお聞きいたします。  
六二ページの徴税費、納税組合奨励費、市はいつまで  
納税に対する奨励費を出すのか。現在それが市民に  
対する義務であるというならば、二のうのむだな奨励費  
取すまでも要す。これは正しいいき方であるか否か。  
現在国税にしろ、県税にしろ、或いは一般の税にしろ、  
税務署においても、こゝうにやうにしているのか。館山市は  
かりではないのか。その説明を求めます。

次は二五ページ消防施設のボテ積載台・可搬ポンプ  
二台二百九十立方センチメートル金庫に対して今まで銀山市の広  
範な地域にどうしようにと二に施設するかと。それに対し  
て道路部面がどうなっておるか。それを加味したものは  
十か含まれておるか。

次に二四ページ三番議員がおっしゃいます。二に關  
連質問をいたしますが、教育長は今答弁において  
特別教室は四十三年度にやるという設計書は作  
成中といった予算を出してあるかと作成中とはいか  
なることか。予算を出すには確たる設計書がなければ  
ならぬ。また彦南中学は特別教室だけを作ら  
ばそれでいいか。講堂はどうなっているか。或いはそ  
う  
他う付属物はどうするのか。それに対する予算が  
關係はどうなっているか。その三点を聞きたい。

次は一三三ページ 市民センターの施設費であるが、修繕費が三十万のせてある。また受け取りも一ないのに、三十万の修繕費をどうして見込むんだ。この市民センターは、その後建築ができて市は完全に受け取りをいであるのか。

この予算では受け取りを完全にいであるように見受けられる。それに対してまだ不足するものはないか。その他造成は今後一切あるのか。やらないのか。それらの点に対して説明をお願いします。

・収納課長(多田俊一君) 納税組合に対する報償金にまきましてお答え申し上げます。

これは国税において納税貯蓄法におきまして補助金という名目で法律で規定されております。

一から七から各市町村とも納税貯蓄法に準じて

奨励金という名目で交付されておるわけでございませ  
 戦後各市町村とも経済的に非常に窮迫したと  
 いう当時税金の集まりが悪いというふうなことから  
 各市町村ともそれぞれ規定によりまして奨励規定  
 を付けてあるわけでございします。全国各市町村とも  
 納税組合に対する奨励規定がないところは一つもござ  
 いません。なお、岡山市におきましては御承知のとおり  
 納めた税金に對し、まゝて百月について四月、それから  
 扱った枚数一枚について三月という規定を設けており  
 ますが、これは県下二十市中、大体中位に位してお  
 ります。なお、御承知のとおり、税金には還付はない。  
 お説の通りでございます。税金に對し、まゝては還付  
 はないのだという方が法律には規定されておりますが  
 さつきも申し上げましたとおり、税金の収入ということに

つきまゝでは一番手取り早い話が納税組合による組織による納税方法が一番安全であり、確実だということ。この組合にいろいろ奨励規定を設けまゝて収納をはかるといふわけでございます。

市税と保険と年金と、この三つが税金に對します。奨励金でございますが、約今年は一百万位になります。これだけのものを還元するということとは私たちとしても考えなければならぬということ。目下検討いたしておりますが、そういうわけで報償制度は法律では規定されておりますが、納税貯蓄組合法に準じた方法で各市町村ともやうなものといたうが現状でございます。

・二五番(田村源治郎君)一問ずつお願いします。あなた方が市税の徴収に對して奨励金或いは還付金を

あるものなというところはどう納税組合という名目のも  
とに持つていくか。納税組合といつても団体なり。通業  
会なり。農業会なり。にやつておるのだ。現在ではスミ  
スにいつておる。市はそこの団体に対しては助成金な  
りで援助しておる。今奨励金をやるのなら二重に  
なる。支出すべき金ではない。結論として！

・収納課長(多田俊一君)現在館山市におきましては市税  
保険、年金、その他組合数を申しますと約六百三  
十組合ございます。一合一私の方針といつてしまし  
ては、一部落一組合ということで整理統合されてお  
ります。

現在が状況でございますと非常にスムーズに納められて  
おるといふ感じがいたしますが、実際扱ってある組合  
の方々は非常に骨を折っておるわけでございます。



それに対してまゝて、いわゆる先ほど、基準で奨励金を出してありますが、これは運営のために奨励金を差上げるのだからという事で、それで組合が扱っておるわけであります。

それから農協とか漁協というふうなお話でございます。が、一部漁協の中で、組合を扱っておるところもございます。また、神戸地区あたりでは、非常に農協で協力していただきまして、それに対しては、私の方といたしましては、漁協なり農協なりに別に補助金は出しておりません。組合だけにしております。

三五番(田村源治郎君) 組合をもつとちうめてある方法はないのか。今まで市は全部、市民に対して、どれだけ補助金はいくらにもつた助成金を食わせたか。二ヶ月間、題に対しては、もと還付金、或いは奨励金というものは

あきないでも、おそろく有むんではないですか。有まな  
いということは、おそろくないはずだ。どうか不合理な点  
はないか。

議長（吉田勇治郎君）二五番議員さん、一問一答という  
ことでございますが、会議の運営上一応、前回の答  
弁が残っておりますので、その答弁を求めて、再質問  
をしていただきたい。かように思います。

消防本部長（岩田実君）先ほどの御質問にお答え  
いたします。備品購入費でございますが、ミニに  
ポンプ車一台とございます。これは船形の堂の下  
部でございます。ミニには三輪車が配置してある  
のでございますが、この三輪車が約十年を経過し  
たしまゝだが、老朽化いたしまして、非常に修理費  
もかさんでむしろ不経済ではないか。新山ポンプ

車を購入してもういたいという要望がございまして昨  
年う九月う市議会におきまして債務負担行為をも  
ちまして御審議いただきましてこれは本年う一月、現  
在が参りまして現在所蔵しておるものがございます。  
そんな関係でここに予算を計上させていただきた  
それから積載車一台でございすが、これは豊房の作  
名にこれも現在三輪車が配置されておるものでござ  
います。町村合併前終戦直後に購入したもので  
ございまして二十余年を経過いたしまして、  
これも実際に使用に耐えないという状態でございま  
してこれはポンプ車よりも小型ポンプを購入して積  
載車に積載した方が土地、状況に合うのではない  
か。こういう御意見でございまして我々としてしま  
しても、その方がいいのではないか。こういうふうに考  
えま

一、積載車と可搬ポンプ車一台を購入いたしまして、  
 こゝに積載車と装備をする。こういうことでございます。  
 それから可搬ポンプのあと、一台でございまして、こゝは館  
 野の稲でございまして、こゝに現在装備してござい  
 ます。昭和二十六年、七年でございまして、たが  
 現在の富士ダンプセルで製作いたしまして、マスケットと  
 いう可搬ポンプでございまして、こゝが老朽化いたし  
 まして、使用に耐えない状態でございます。まして、火災で  
 出動してもなかなか水が出ない。こういう状況でござい  
 まして、こゝを更新したいという要望がございまして、  
 こゝに計上したわけでございまして、

・教育長（押本禧徳君）房南中学校の建築のことに  
 お答えいたします。房南中学校の建築は昭和四  
 十二年度、三年度、二カ年、継続事業としておるわけで

でございますが特にたいヨ、建築中の第一棟は四十二年  
度中に設計図もできておりまして四十三年度の今  
度の建築につきましては設計書はできておりましてそ  
れによつて設計図の方がまだできてない。こういうことで  
ございまして予算はそれ設計書によつて作っているわけ  
でございます。なお、体育館兼講堂という問題に  
ついては、これも当然、作らなければならぬことではござ  
います。が、本年度の予算には計上できなかったわけ  
で、次の段階では是非作ってもらうように委員会では  
そういう予定は持っております。

・市民センター事務取扱者（太田博雄君）市民センターの件について  
御説明申し上げます。

センターの受け渡しは四月いっぱいという契約になら  
おります。おかげさまで見通しも一応つきまして、こ

期日も間違いないことと思われます。なおセンター  
の運営に当りましては市民の方々の御利用の程度に  
よりまして予算面におきましても今後またいろいろ  
な変動があると思えます。なお修繕費の三十万で  
ございますけれどもこれは四月いっぱいまで受け渡し  
が済みますと五月一日にただちに落成式をいたす予  
定でございます。このようなこともございましてこれ  
からの一年間の一応めすでございますけれども実質  
上は運営にもまだ入っておりませんことですからいま  
いたすことがどうというようなことは今、ここでは申し  
上げることはできませんけれどもこれで御了承願いた  
いと思えます。

なお庭園関係につきましてもただいま計画中でござ  
いますけれども仕事の方は建築課の方で計画

してありますので、庭園関係の方は建築課の方にお願いたしたいと思います。

。建築課長（池田春雄君）庭園関係の方は大体、三、四〇〇（一）べ、ばかり）あそこに砂利敷、一、二〇〇（一）べ位、コニクリートたたきを打ち、それから街灯を三カ所、水銀灯です。が、なお植樹を建物より回わり、四カ所程度計画しております。

。二五番（田村源治郎君）徴税の方はとにかく努力していただくことに要望したいと思います。

それから消防ですが、使用に耐えないものだと云われるけれども、これはある程度年数がきておれば使えても使えなくてもおぼろし交換の時期にすべき車ではないか。いか。この車は非常時には使えなかったら、けはないが、その点をもとはつきりしてもらいたい。

次に中学校であるけれども設計書はできておるけれども設計図はできてない。設計図ができてはじめて金額がうらなければならぬ。こゝ答弁はいかなるものだ。それから、こゝをやつたら講堂あたりをお願いしてある。こゝでどうするのかわかぬ。こゝにお願いするのかわかぬ。お願いするのかわかぬ。学校をこゝえて講堂、或いはその他もかわかぬ。どうものすう重大な義務教育の講堂である。そうもうがお願いしてあるだけで教育長の責任ある答弁がでるのかわかぬ。その点をもちと明確にお答えしてもらいたいと思います。

消防本部次長(岩田実君)お答えいたします。一般的に申し上げます。消防本部の耐用年数は十年であると言われております。こゝは大笑の件数、或いは機



械のポンプ、置かれています場所であるとか、気象条  
 件にも左右されるわけですが、大体十年とい  
 うことが言われております。それでミニミニが、ポンプ車  
 一夜館形堂の下でござりますが、大体九年を経過してな  
 ります。これは三輪車でございまして、人員の関係上、三  
 輪車を購へたのでござりますが、やはり三輪車と  
 いうのは、消防ポンプ車といまして、何か無理がある  
 まうでございまして、ほかの四輪車に比べ、いたしまして  
 老朽度にはなほだーかったわけではございます。

それから積載車と小型動力ポンプを購入いたしました。作名でございすか、これは先ほど申し上げましたように終戦直後購入したものでございまして二十年経

過してゐるわけでございまして、すでに耐用年数、倍以  
 上という二つになつてゐるわけでございまして、この三輪車  
 につきまゝでは、地元の消防団の方々が出勤に對しまして  
 丈へん骨を折りかけたやうでございしますが、この車も現場に  
 おいて水が出ないということではございまして、なお  
 今、小型ポンプでございしますが、これはやはり十数年経  
 過したまゝで、耐用年数が過ぎたてゐるわけでございまして  
 市内に当時配置したまゝ富士ダイセルで制作  
 したまゝたマスコットポンプというのとはほとんど現在ご  
 ざいません。この稲も、最後という状況でござい  
 まして、このポンプは老朽化したてゐります。現場に  
 おいて水を何とか出しておたやうな状況でございします。  
 建築課長（池田春雄君）房南中学の建築について、教育  
 長、設計書という言葉、そこが一般的におわかりに

なうない。誤解さへてゐるかと思ひます。で、申し上げます。  
設計書というものは、図面と仕様書、積算書、これが  
できて設計書になるわけです。先ほど教育長が申し  
上げましたのは、一般にここについて全部の計画を立て、  
それに付帯する工事、そういうものを計画し、それを年度  
計画にここからここまでは、四十二年度、四十三年度  
というふうになったものであります。それから、講堂の  
問題は、四十三年度以降にやる。こういうようなことを伺  
つております。それで、それから先ほどの図面とか、積算  
ができてゐるかというふうなことは、四十三年度については、こ  
れから実施するわけです。以上。

。二五番(田村源治郎君)市民センターの方は了解しました。  
消防ですが、水が出ないようなことはなかった。出なかったら  
どうするんだ。それでは、安心して仕事をまかせられない。

出る事である。でも耐用年数がきておる。交換したいから  
という答弁なら納得する。現場について出ないことは、  
ありませんでした。かかる答弁はもとと慎んでもういたい  
話はよくわかります。これは了解します。

次は中学の問題でありますけれども、教育長の説明  
と今建築課長の説明とを比べると話は全然違ふ。  
どちらを信用するのだ。

私は教育長のいうことはあまり誤まりが多いのではな  
いか。私の聞いておる範囲では、その点、四十三年度  
には必ず、房南中学は建設することを願ひ、  
四十四年度は講堂、その他もろを必ずやうていただく  
ことを要望して二五番議員は了解いたしました。

議長（吉田勇治郎君）午前中の会議はこれにて休憩いた  
します。午後は一時会議を開きます。

午前十一時五十五分

休憩

午後一時

三分

再開

議長(吉田勇治郎君) 午後、出席議員数 二十五名、

休憩前に引き続き会議を開きます。

一 香(菊井敏博君) 歳出全般に関連して質問いたします。  
これは毎年のことなんです。この議会において当初予算を組んだあと、非常にあとから大きい追加が出るということが多いので、この予算そのものが今年度は終局的に大体どの位の追加を見込むか、その点をお聞きたいと思っております。

財政課長(長谷川広治君) 本年度の追加予定額でござい  
ます。が、国庫補助事業或いは県補助等に関連を

いたしましてワクラ決定に伴う増減、こういうものを  
主体に考えておきます。この追加額は約三千万程  
度ではないかというふうに考えております。これには給  
与改定分が若干含まれると思います。

二番(菊井敏博君)ただいま三千万の追加が出るというよう  
な話ですが、この三千万は主体はどこに入るか、大抵場所  
ですわ。項目がわかりましたら教えていただきたいと思います  
います。

財政課長(長谷川広治君)個々の問題になりますと、現在  
ところ、予定がついておりませんが、大体費目と申します  
と、事業的なもの、約千八百万程度ではないか。それから  
経常費的なもの、千二百万程度のようによ考えます。  
これはあくまでも推定でございます。

二番(菊井敏博君)二ページを参考にしてお聞きしたい

うてございますが本間市政の根幹たる観光施設の整備、充実、産業の振興、教育施設の整備、拡充ということが、館山市の基本方針でございます。カーナガラこの二ページを例に取りましても見ますと、現在館山湾の埋め立て、砂の崎のフラワースライン、開発等果が南部に對してカを入れているという今において、館山市の観光面も非常に飛躍しなければならぬという時期に當りまして、南工費におきまして千五十八万が昨年度より減額になつておる。また、教育費におきましても、房南中学校の建設等を含みながら、五百四十八万前年度より少ない。また土木費におきましては、四百三十七万。現在土木費におきましては、非常に人件費の暴騰、資材の暴騰によりまして、実質的な経費というものは、予算というものは多く取らなければならぬという時期に當りまして、

今年、土木費の計上は昨年度より少ない。また四  
十一年度を見ましても、実に九百二十万と少なく  
なつてゐる。四十年度の予算と大体同ト状態にで  
てゐる。館山市の土木行政が、おかしな下はないかと  
いうことが、強く考えらるゝ。ふつとございよう。

その点につき、一ヶ所、つた理由、高工費、教育費、  
土木費におきます。減額で、現在館山市としては、  
十分なりかという点をお聞きしたい。ございませう。  
含めまゝ、市税において、七千万もふえながら、三  
つ、事態が起さるゝかという点。その点、含めまゝ、  
お聞かせ願ひたいと思ひます。

商工観光課長（山田俊康君）高工費におきます。千五  
十八万二千円減の理由であります。けれども、中小  
企業の預託金、四十一年度におきまゝ、二千万



の預託をいたしませんでした。それを千五百万、四十二年度におきます。二千万の預託当初におきましては、預託額の三倍額を貸し出すというものであったと思いますが、その後交渉の結果、預託額の五倍まで貸し出しを伸ばしてくださるということになりまして、中小企業対策として千五百万、五倍額、七千五百万円の貸し出しと見ると十分にやすいけるのではないかと。なお新しい国民金融公庫、築山支店等もできまして、それらも含めて預託制度、貸し出し制度はやっていけるという見通しのもとに五百万の減、それから昨年度と比較しますと、北条海岸公園にふしと昨年よりまゐりました。今年もお願ひしてありますけれども、債務負担行為で四百三十万お願ひしてございます。

それから昨年は、館山を紹介する新しい歌、民謡作

成費というふうなことで二百萬計上になっております。本年度それが割愛さいます。そういう関係から千五十八萬二千円が減とはなりませんでした。なお、昨年度の予算と比較いたしましては、多ク、増高を見てゐるという結果になっております。

・建築課長（池田春雄君）土木費について申し上げます。

前年度一億二千三百十一萬計上となつておりますが、その中には住宅建設費が二千萬あったわけです。本年度は住宅建設はございません。むしろ土木費自体は上つてゐると思ひます。

・教育委員会庶務課長（千場用右エ門君）教育費において五百四十萬一千円という減でございますが、このおもなものは市民センター関係の予算の減額でございます。そして、それ以外、教育総務費、それから小学校費、中学校

投資、幼稚園費、そういう関係においては増額となっておりまして結局市民センター関係の予算、四十三年度と四十三年度と比較するとその関係の減額が三二にまで落ちたものでございます。

○一番(菊井敏博君)減額と比較をお話しいただいたんですが、私が言わんとするところは、これから伸びる館山市で市長の三本の柱を方針としてかかげておられるもうが去年の一例を上げますと土木費において住宅建設が二千万ぐなったから、本年は去年より多いのか、ということ、もうな説明がありまして、たが、ではなぜ、今年住宅建設をやらないのか、ということ、私は聞きたい。ということは歳入で市税が七千万もプラスになっておるのと三本の柱、既定方針が三千万に三しかだけ少ない、ということに疑問を感じざるわけですね。

その点についてもう一度去年の比較に対してでなく  
これは今年はやらないから来年やりたいという一つの方針  
とお聞かせいただきたいというのが質問の内容です  
が、その点お答え願います。

・建築課長(池田春雄君)住宅建設の問題、本年度実施  
さしつかえを来年度においてそれをまかなうだけの  
増を来年度においてやるという予定であります。

・一番(菊井敏博君)わかりました。言ってもしょうがない  
ませんが、三本柱の予算が去年より少ないという  
のは私自体も不満を感じます。ですからもつと

重点的に当初ケイでも追加というものを、こういう  
ものに向けてもらって、館山市の発展のために御尽力  
いただきたいと思います。要望して終わります。

・一七番(江田徳太郎君)私は九ページ商工観光費について

お伺いいたします。

商工観光費が本年度は今お話がありましたように  
千五十万も減になっております。これにつきましては  
市長の申されております三つの柱の観光という館山市  
の一番やらなければならぬ観光費について現在、決  
予算から見てただう三％とか商工費が減まゝて  
ありません。こういう現状からいきまゝて観光の面から  
発展させていくということを取り上げておる館山市、第  
一の施策でございますが、それにもかかわらず、決予算  
の三％ということは考えるべきところではないかと思ひます。  
そういう面から今後、いき方、どう進んでおるかという  
ことをお伺いいたします。

。商工観光課長（山田俊康君）お答えいたします。

観光の面では特に観光事業、それもを館山市が

経営するということではなく観光事業の導入の  
基盤を醸成していくということが非常に大きな館  
山市の課題となっていると思います。観光事業会  
社が館山にもし行そ十億投資しよう。或いは三十億  
投資しようという基盤を整備していきたい。今後も  
事業会社が数多く館山市に投資して下さるように  
そのような方向で進めて参りたい。観光事業その  
ものを館山市が経営するということわけにはいかないとい  
うこと、基盤整備ということ。今後またいに骨を折って  
参りたいと考えております。確かに御指摘のように商工  
観光費市税等の伸びに比べて伸び方が少ないでは  
ないかという御指摘ありがたく承っております。  
今後もしそういった方向で基盤整備に努力して参  
りたい。かように考えております。

。市長（本間謙君）江田さんの御質問は観光関係ななんか  
に予算があまり少ない。三、四億のことですが、今観光  
施設を市でやろうとしても絶対できません。何億、  
何十億かけなければとてもものにならないます。ですから  
事業家を誘致してやういふわけでござります。

大きな例を申し上げますれば、神戸の帝国観光のゴ  
ルフ場ですわ。それからアールとか南方植物園とか、ふ  
かこの間、開きまゝたらう二十億かかておるそうです。ま  
あ、これも市の方で心配してでき上ったわけでございま  
す。それから本年みなさま方いろいろ御心配をされて  
今計画途中、上にごいます。館山港の埋め立て  
二、三億という構想でやういふおるんです。が、いづ  
れにしましても、市の予算で観光施設をしようという  
ことはとてもできないわけです。市の方では誘致をして

大きな資本を持った方に観光施設をやっていたらこう  
 こういうことで考えて実施して参つておるわけではござ  
 います。大きなことではございませぬけれども城山の

開発、これは市でやっております。また今度の議会で  
 も御審議をお願いしてございませぬけれどもくじく

園の造成、これも千二百万位かかります。千二百万の内

容も相当額の寄付金をお願いすることに進んで  
 おるわけではございますが、観光施設をいらないと言われま

しても今組合水道をやっておるのも観光の基本的のも  
 うですわ。それから富崎の方でもそういうことが言い得る

わけです。それから市民センター、二億一千万で近くでき

ますが、これも観光というつながりが考えられるわけでは

ございますが、これは今までも館山市で千人三千人とい

う会合を申し込んできても場所がない。それらの方



をあれそこを使用してもらおう。旅館に泊るあれそこを使用するということでも、やはり観光にもつながる施設。これは市民の集会、或いは体育の場所でございます。けれども、そういう観光的にも考えて計画したわけでもございますが、予算、面から単に言わねえまでも観光施設というのは市の予算をもってやるものではなないわけです。

ですから、そういう人を誘致して立派なものを作るように我々が努力する。こういうことでございます。

一七番（江田徳太郎君）ただいま課長さん、市長さん説明をいただきました。ありがとうございます。

それについて、まあ伺います。私も市長さん申しました市民センターも観光の一つである。また予算、面からいって、少なくて観光、面がないというわけで

はないと思っておりますが、ただ私は外資導入だけにどうかと思うのであります。もちろん外資も必要でございます。大きくするには、二十億も三十三億もかかります。市におきまして五千万でも一億でもいいんです。城山の開発も結構でございます。観光の一つでございます。まだほかにあるという資源を持っておるところといたしまして一例を上げますならば、那古の観音さまにいたしまして、も資源になります。また今度埋め立てでございます。五万坪位埋め立てという説明もございますが、こちら全部が全部外資導入でやらなくてもいい場合があると思います。そういうときには一億でも五千万でも市プラスになるような施設を作る。こつ付近では江見のフラワーセンター或いは勝山とかああいう小さい町

でさえ、これは何億もかかっております。あれだけ町  
でやっております。ああいうことでさえ、あれだけ人が  
観光面で参っております。

市でやるべきことを考えてもらいたいと思っております。  
うで、観光面で全国的に館山であるという印象を  
作りまして人を集めた場合に、これを受け入れる能  
力がないのだということになりますと、すぐ時間がしま  
ーたら、はいさようなうでは観光にならないと思ひます。  
そういう面から館山市におきましても、三つ、一つも  
ある。半日でも一時間でも見てもらって、ここに泊つて  
もらう。北条海岸を埋め立てたら、あそこは不夜城に  
するような考え方を持て、いただきたいと思ひます。  
紀州の白浜は別に何うあれもない。ずっと回れば公園が  
ありますけれども、あそこには不夜城ができております。

それでそれだけの人がいます。

館山市も一つ二つ三つと観光施設を作っていたら、  
ならば、京葉工業地帯ができて、観光地に対  
し、まゝでは相当人も入ってくると思っております。

そういう点から漁業も農業もすべてのもうが大  
事でございまして、うけいでもう一つ観光で生きて  
そうして全国に知らせて観光、館山、館山の観光を  
いゝが上にも広めていただきたいと思つてあります。

もう一つ五ハバージャー先ほども話題になり、た広域  
行政についてお伺いしたいと思ひます。先ほど  
嶋田議員がお話で大体わかつておりますが、四十  
三年度にはなるべく広域行政として合併の面という  
ことを考えていらっしゃるということでございます。

これは二三年前からやっておりますが、なかなか進んで

いかたいうが現状でございまして、市長さんが会長にな  
られて当然、この線に進むという事になつておりますが、  
一応お伺いします。これはどうも今、広域行政のいき方  
が、水道部会とか、観光部会とか、いろいろ部会部  
会に部長がございまして、おろおろ面をございします  
が、これは結構ですが、事實は、館山市と安房郡  
を一緒にするということとは、不可能なことではないか  
と思ひます。昨年までは、広域行政ということでは、安房  
郡を三つに分けてございまして、それがございした。が、それができま  
せん。つづいてございまして、今度は、郡市を一本でも  
おろすことが不可解でございしません。今まで、朝夷、鋸南  
長狭、そういう三つでございまして、三つでございできない  
が、これは一つにしてございできる可能性ありや否や、  
その点、伺いたいと思ひます。

それからもう一つ、交通安全対策。これも市長さん、  
 第一のテーマで交通安全は十分考えていかねけ  
 ればならぬということ。交通安全協会というものに  
 対して六十万九千円の予算を出してあります。これは  
 対しましても、果からも収入百五十万とでております。  
 こういう面につきましても交通安全対策として果と  
 どう程度、これを確保、さしましても交通安全対策に  
 対して、この重大時期を突破さしますか。特に三  
 本の柱の中では、観光と交通ということが言われて  
 おるが、三本にある中でございしますが、これを伺いさせ  
 ていただきたいと思います。

市長（本間 義君）五田さんは市において五千万円でも一億  
 でも出して、何年かかってもいいから市でやるべきだ  
 というお話しようですが、それは、否ともつともでござい

ますが、いろいろ考えて、実はやっておるわけでござい  
ますけれども、現時点では、城山の開発、それから今  
お話の那古山の開発、これにつきましては、私は以  
前から考えておりまして、たけれども、やはりいい考えが  
出ないです。ですから、那古山にいろいろやる山田  
議員、白熊議員、地元の方々にも、私の方ではいい  
考えが出ないから、みなさんの方で考えて、いいことが  
あれば、私の方で検討してやるからというふうなことは  
話合っておりますけれども、江田議員さんにおかれま  
しても、今お話の線に、どうも、三つ、四つ、五つ、六つ、  
ああいうことをやったらどうかというのを考えがございま  
す。一、たうせ、御指導をお願いしたいと思います。  
それから、広域行政のお話でございしますが、今私が南  
三河間、いかもしませんか。今まで三つ、四つ、五つ、六つ、

域行政を云々おったんですわ。それがつぶれて今度一つになつてというお話のようですが、つぶれるというかがどういふ意味か知りませんが、やはり熊山市も入れてあることが妥当だということでは全部を一丸となつて決つてつぶれたということではなく、発展的解消ですか。そうして郡市一本になつたというふうに私は思ひます。全部を一踏にするということではなないんです。先ほど申し上げましたように、まだ案ができておらないです。おらないですけれども、少なくとも熊山市は熊山市独自の町村合併ですか。早く言えば、そういうものを検討して熊山市自体がきめてそういう広域行政の中で実現をはかるということでありまして、郡市を一つ市にしようということではないんです。それから交通安全につきましても、これはみなさん方も



非常に御心配下さっておりますわけで、これは全国的・世界的な問題ではないかと思っております。

自動車がたくさんふえてくる。道が使へない。なかなかこれは容易ではないわけですね。この四五日前においてアメリカに比べてお帰りにならぬままに金木さんが家族ぐるみになられたという近い例もございますが、これは果とどういう連絡かというお話ですが、今までやってきたこと、今後も信号機なんか全部、果の方と相談してある。北条小学校の方でござるた橋、ある。いうものも連絡うもとにござるおります。

それから交通相談所、この運営につきましても、果とともにござるわけですね。いま、私は交通に対して、まあいろいろなござるわけですね。けれども、その中において、やはり駐車場ですわ。館山

市で五カ所位作ったらいんではないかと思つて  
 いろいろ関係者の方ともやっております。なかなかいい  
 場所がございまして、船形に一カ所、那古に一カ所、  
 北条に二カ所位、熊山に一カ所位、五カ所位、驛  
 車場を作るように土地の人ともしばしば折衝し  
 ておりますけれども、現在場所がございまして、  
 困りますけれども、今やうに交通不便なところ  
 へ陸橋ですか。ああいうものについては、県にお願  
 いしております。大きな仕事は県とか、国やカド  
 またないといけません。県と連絡をはかして交通  
 安全に対処いたしたい。それから四月一日から交通  
 災害補償制度ですわ。これが実施されることになつ  
 不幸にして、交通災害にかつた方の救済という  
 語弊があるかもしれませんが、そういうことで充足をする

というところでいろいろ対処しております。

この問題はやはり施設ばかりでなく精神的の問題も大きく考えていかなければならぬと思ひますが、警視庁で四十年間運転手が無事故で表彰されたというのを聞きまして、どうして四十年も無事故でつたか聞かしてもらいたいといったところが、それは交通规则を守ることも、それはごもつてですが、それが本当だろうと思ひます。ですから市民や家庭内から朝めしを食ぶるときとか夕飯を食ぶるときに交通规则を語り合ひをしてお互いに规则を守り事故を起こさないように注意するように精神的な面ですが指導をしていきます。また神戸地区の婦人会では交通母会ですか、できてやつていらつしやるそうです。そういうことも推進いたらないとも考えておりますが、両面で対処し

ていくことが私は望ましいと思います。以上です。

一七番(江田徳太郎君)ただいまよう市長さんからの御説明で大体わかりましたんですが、交通安全対策の方にもうきまーては、市長さんるる説明さしきまーて、今後ういき方につきまーても、果とう関係も十分審議されて、またこれを各市民に周知徹底させるというううなことで、これは私も了解いたります。

それから広域行政の方でございますが、特別行政区域と申しまーて三つ、駒込と長狭と鍛冶町と申しまーて、こういう形で五万以内の市を作ってもいいんだという二つは、昨年きりだと思ひます。そういう観点であり、三つを作るということで、昨年までさうであった。それかできなかつたということが、私が申し上げましたうちう一つでございます。期限が切れてしまったから、つづい

たと申し上げましたので、期限が切れば五万以下の市が  
できないのだということがうたわれたので、申し上げたのでござ  
います。それを全部一括するならば、大きな市ができる  
のだ。熊山市と一緒にするならば、長狭が四万幾らで  
したか、朝夷が三万九千幾ら、熊南が四万乃至三万幾ら  
というところで、二がうまういかなかったと聞いております。  
これを一つにするのだということを考えておいたために伺った  
わけなんです。そういう点から今後のいき方と申します  
か、熊山市といたしましては、この前から申し上げてお  
りますように、熊南、富山、富浦、熊山市、白旗あたり  
は、こっちの方で申しますか、そういう市が大へん結構  
だと思えますが、企画課長から申さよりましたように一  
年間で大体というお話もありましたか、なかなか困  
難だと思ひまして、伺いたわけでございます。

大體了解いたしまして、終了します。

三番(関武夫君)五点ほどお伺いいたします。

一、大ベージ債務負担行為についてであります。先だ  
つての説明のときに、有課長から説明がござい  
ました。あつただけでは不十分でございまして、四つ  
の項目の具体的な工事施設について、説明  
をもう詳しく、詳しくお伺いしたいわけにござい  
ます。たとえば、三福寺橋の件ですが、これは幅  
何メートルで、長さが幾らだ、という説明がほい  
と思っております。

それが第一点。

次に八四ページ、三目、環境衛生費でござい  
ます。十一節、需用費の中で、消耗品費として、百七十  
六万七千円、この点についてお伺いいたします。

これは、先だつての説明で、一般の家庭に対する薬料

散布と学校 その他公衆施設に対する薬剤散布の  
費用だという説明でございますが、昨年度に比較し  
たいまして約百万円減額になっておるわけでございます。  
この説明をお願いいたします。

数年前までは市街地にはほとんど蚊や蚊もいなかった  
んですが、最近ではかやがたけいば復らない。蚊も  
も相当出てきておる。こういう環境衛生対策という  
ものが相当後退しておるような気がするわけでござい  
ます。が、そういう情勢下にあるながら、なお、百万  
円を減額するということにはまことに落ちないわけ  
でございます。そう、御説明をお願いいたします。

次に八七ページ。しんかい処理費でございますが、十八節  
の備品購入費で青掃自動車を買六十五万円で  
購入することになっております。これは私、まことに通

切な施策だと思ひます。つきまゝでは、現在現時

点で何台の車で何人の従事者がやっているのか。

その点をお伺ひいたします。

次に一〇〇ページ観光費の中でキャンプ場に関する

予算が方々に出ております。これは二ヶ月間

課長の説明を聞きますとその受け取った感にがキ

ャンプ場の対策として三に上げたのに中途で来年

度はキャンプ場を廃止するという方針が出たために

説明の目的だけを二ヶ月でかえたという感にを

受けたわけでございますが、二ヶ月間関係後う

費用としてこんなに実際にかかるのかどうか。その

点を正直に御説明願ひたいと思ひます。

次に一四一ページ給与の関係でございますが、先月

説明で従来賃金から出してあったものを今年度か



ら、給料に振りかえた。それが四十四石であるという説明でありました。その右課ごとう内訳でございますね。何課には何名、こういったこと、御説明がほしい。それから、その四十四石に対する給料の手当まで、ふた額が三億五千二百万のうちの幾らであるかというところ、御説明をお願いいたします。以上でございます。

・商工観光課長(山田俊康君)債務負担行為の申し植栽費四百三十万円の件でありますけれども、昨年度木村屋旅館の手前まで植栽して参りました。

あとグリーンベルトで果が作りましたもう、残っておりますものが二十三個ございます。現在、工事を施行しております。海幸苑という旅館がありますけれども、そのところまでグリーンベルトが延びております。

昨年、なお植え足りなかったところ、最後のグリーン

ベルトが二本しか植わっておりません。一本不足して  
あります。そういう関係で全部で九十本一本  
不足分七十本をあと三十に植栽したい。

なお昨年度の場合には一本五万円であつたのが  
今年は六万円。その理由でありますけれども、宮崎  
県、鹿児島県におきまして相当大量の椰子が産  
出され、或いはほかに移動がなされたために、急遽、廣  
見島県、宮崎県が移出禁止令を出したわけで  
す。熊山市の場合には、あれだけのものを買つた  
というところで、口約束といふより、かゝつてあつたわけで、  
そういうものについては特に認めるというところで、椰子  
そのものが移出といふことが禁止されたために、非常  
に値上がりをしてしまったというものが実情でございま  
す。なお、キャンプ場の問題でありますけれども、キャンプ場の

の件につきまして二月十七日の全員協議会うとき  
市長からも申しましたように当然廃止ということが  
決定されております。なお予算編成途上において  
決定されております。たが原稿と照合の誤りがあり  
まして金額等の訂正はいたしてあるにもかかわらず  
タイプ途中でそのまま前々原稿が打たれてしま  
ったというのが実情であります。

金額等の訂正は十分さいまして、果におきましては  
キャンプ場り廃止まかりならぬと現在でもいっております。  
ただ国定公園地域に一カ所もキャンプ場を設けない  
ということにはまかりならぬとは言っておりますが、我々  
としては住民を守るためにキャンプは廃止するのだ。な  
お昨年の実態からいたしまして夜間遅くもキャン  
パーが参ります。特にキャンプ対策賃金では昨

年々の賃金と同様な金額が上っておりますけれども特に本年度は重点を置いて第一年度でもあるし禁止という二点を徹底的にキャンペーンに植え付けるために特別本年はお願いして二いだけ計上させていたでいふ次第でございます。

土木課長(兼重田町長) 債務負担行為の橋梁新設改良工事四百七十万計上してございます。

二い、長須賀地内にござります三福寺橋が老朽化いたしまして幅四メートルで長さ二四メートル橋台を両橋台と橋脚一個を新設いたしまして永久橋にかけかえようというものでございます。

都市計画街路事業の工事請負費、五百三十万について御説明申し上げます。

二い、北条地内より千葉銀行から北条海岸に下る

市道北条港線という道路でございますが、最近交通  
量も多く、だいぶ路面もいたみまゐつたので、幅七メートル  
で延長三四メートル、面積二三八〇平方メートルを大  
体平均五センチの厚みでオールカバーをいたします。  
それに合わせまして、側溝等の修理を行なう計画にな  
つております。もう一つは、船形、館山港線、海岸道路で  
ございますが、ちょうど一中う前にございます。中央の植  
樹帯の除去でございます。最近だいぶ自動車事故も  
起きておりまして、警察、その他かうの要望もございま  
して、グリーンベルトは必要ないのではないかということ  
で、今際これを除去しまして、全部舗装しようというも  
うございまして、以上説明を終わります。

教育委員会庶務課長（千場伊右衛門君）債務負担行為  
の北条小学校建築設計委託料、八百七十五万円で

でございますが、現在北条小学校の移転建築するといふことで、開港公社において土地の買収にかかっているものであります。大体四十三年度において、これが埋め立てを終るといふ予定でございます。

そこで四十一年度にとりて結局、その前に鉄筋コンクリートでみると、大体現在より生徒数からいいますと、四十年度を考へてゐるわけでございます。

これだけのものを当初どの位かかるかといふことをちよつと予想するに困難でございます。設計委託料をお願いして、その設計ができた上で予算化したい。そういうふうに考へてお願いいたしております。大体二千坪から二千五十坪位のものと考えております。その設計とボーリング、そういう関係のものを合せて八百

七十五万円をお願ひいた次第でございます。

保健衛生課長(鯛島憲治君)お尋ねの百万円、減るおもなものは、補正予算におきまして申し上げましたようにゴミ焼却場が現実の問題といたしまして、できたことがおもな原因でございますけれども、私どもは市街地に薬剤散布いたしますのに、四十三年の状況をみますと、大体全部落を実施いたしましたのが、富崎・西岬・神戸・九重が全部落を実施いたしております。館山が四町内会、ふは、なぜかと申し上げますと、私どもの方で作業員が現在三人ございます。そうして作業をいたしますのに、どうしても部落の方に大勢出ていただきますと、作業が困難でございます。従いまして市街地の方では、なかなか御協力が私どもの方でPRも足りませんようにございますが、どう

もうひとつで私ともう方で現在三人の人員で積極  
的に全市を計画的に行なうという事は現段階  
ではちょっと無理があるかと思われます。従いまして部落  
の方から要請に従いますと出てくると言うのが現状で  
ございます。

もう当初に申し上げましたが部落のそういう態勢  
を作ることを本年度時に計画いたしましては（  
協力態勢というものを作り上げていかなければ  
うまくいかないんではないかという考え方で本年度は  
部落の環境衛生並びに衛生全般に対する協  
力態勢の組織を作りたい。このように考えま  
す。予算計上してございますが、以上の様な理由で  
でございます。

衛生施設課長（吉田耕一君）続きまして備品関係の御質問



問でございすが、現在どんな焼却をいたす関係、車  
或いは人員はどの程度かという点でございすが、現在  
運転手を含めまして三十七名でございす。そのうち  
運転手で九名でございす。そういったしまして二十名  
が作業員として雇ひ上げてあるわけでございすが、  
そのほかになお八名というふうなものが焼却場におき  
まして見ておるわけでございす。実際に見ますと三  
十七名は運転手を除きまして確かに多い人員でござ  
います。一カーナわり今までの経過を見ますと大  
体四人乃至五人が休んでおるといふ状態等もございま  
して二、三に一応人員を把握しておきたいということ  
昨年から踏襲いたしましてお願いしたい。ミヤ様に考  
えるわけでございす。台数につきましては現在七名で  
ございすが、それに一台場内、残灰を搬出したします

車が一台八台、それに二の備品購入で計上いたしまし  
た車を入りまして十台ということに相なるわけでござ  
います。

人事課長（小沢正治君）最後う給料関係でございますか。  
繰り入れという表現を用いましては、一応当然、定数化  
されていかるべきである職員に對しまして、従前賃金扱  
いがなされておったという関係とそれから市の部門の關係  
以外で小中学校に事務補佐員という形で市の賃  
金も一応はPTA負担という形のものを含めまして  
一応繰り入れという表現をいたわけてございます。

そう職員の内容と申しますと、昨年度設置しまして臨  
時扱いをいたっておりまして交通指導員を五名、  
それから清掃作業員等に関しましては、特に運転手  
関係についてはすでに定数化しておりますものと、そうで

ないものという関係があり、そういった関係から、当初予算におきまゝでは、清掃作業員十三名、土木作業員九名、それから衛生作業員の二名、これが市長部局におきますところのいわゆる繰り入れ関係として考えたわけでございます。

それから教育部門におきまゝで、給食婦九名、事務補佐員四名、大工の一名、それから小学校使丁の一名、合計四十四名の繰り入れというふうな形でございんだわけでございします。その他、直接市民福祉を増進対策といたしまゝで、純増加部門が、市民センターをはじめとする青少年係、これが十名というのとで、合計六十名の増である。それに対して前年対比では、消防部局において予算計上が一名減った関係から、最終的には前年度と、比較増減は五十九

九名増というところでございます。従いまして二つら  
関係で総額において給料だけを取って見ますと三千  
二百九十万四千円、増になるわけでございますがこ  
の年で増増部分としての関係と繰り入れ関係の増  
額というのを分類して計算してございせんけれども  
約千三百万前後になるかと推定しております。

二番(関武夫君) 第一点の債務負担行為に関する  
事業内容の説明とそれからキャンプ場に関する  
予算の説明については了解いたしました。

八四ページ環境衛生費についてでございますが、手  
の少ない中で全市にわたることは、実際上不可  
能だ、これもございしますが、今までのやり方を見ま  
すと町内会をあげて態勢を整えたところが、居発  
にやりおきまして、各町内会がそうあるべきで、

實際問題としては、それができ得ないところが多いわけ  
でございます。そうして、葉を町内を通りて各家庭に  
渡すということだけやところが、比較的多いわけござ  
います。これを何とか本當に個々にやるのは、何にもな  
らない。一緒にそう処置ができるように御指導を  
いただきたい。かまうに考えるわけでございます。要約で  
ございます。

それから、ハヤページトんかい処理費についてであります。  
御説明よくわかりました。最近うゴミの集め方を見  
ますと、ポリバケツに入っているものを、限って持つ。そ  
うも、持ついかな。こういう現状でございます。  
持つ、いつでもうために別に名札を付けてやるとか、そ  
ういうふうにもうておる家庭は、實際に少ないうで  
あります。ポリバケツの脇にゴミを置いて、もそれ

していつておるが実情でございします。ふはゴミの

集荷が始まった頃うあり事態から比較いたしまして  
非常に不親切な感じを受けるわけでございします。  
でまゐった当時は私もちうと町内会に關係して  
おりました。市役所の車の脇に乗って役所  
の係もそこに乗って町内を回って時間通り回  
わるかどうか。またバケツを出す位置が適当  
であるかどうか。そういうことをよく調べて骨を折  
ったつもりでございしますが、そうときは市役所  
係はゴミなら何でもいいのだ。とにかく出てくれ  
車で持ていくからという指導を一般市民にいた  
わけてございします。実際においてはそういうふうな  
指導の仕方があった方が市民にとっては幸わせであ  
るわけでございます。その点課長さんの四十三年度

にどういふふうにあるかという御所見を承りたいわけ  
でございます。

それから一四一ページの給与に関する件であります。

課長の御説明は御説明として一応了承いたします。  
賃金から給与に振りかえたものが四十四名あるわけであ  
るが、当然賃金もこの四十三年度の賃金手算が相当  
減らなければいけないわけですが、実際問題としてけ  
あまり減らないように思われます。そこで必要な課だ  
けをお尋ねいたします。

商工費におきまして四十二年度と四十三年度は賃金の手  
算が概ねかわりがない。わずかに減るおるわけですが、  
五名を給料に振りかえておりながら減らない。この  
事情を御説明願いたいと思ひます。

それから土木費におきまして確か本年年度の方が四

二年度よりも賃金の手算がふえておる。これは  
事業の關係によるものかどうか。この点御説明  
願いたいと思います。

商工観光課長(山田俊康君) 商工費の賃金は交通指導  
員が五名減ったにもかかわらずということでありませうけ  
れども交通指導員は総務費の諸費に賃金で組  
んでありましてその關係でありまして現実には多クふ  
えております。と申しますのは一人前分で考えますと清  
掃人夫四十三年度七百五十月計上いたしましたけれども  
四十二年度七百月であつたとか。ただ昨年の場合、夏季  
対策ということで予算計上が大十日分計上いたした  
にもかかわらず、昨年の実績からいきまして、それまで計  
上必要なしということで日数を減らしてあるわけで大同小  
異という線が出ておりますが、一番大きな賃金職員



は総務費に計上したものが吸収されたということであり  
ます。

衛生施設課長（吉田耕一君）二点目でございしますが、お答え  
を申し上げます。前に先ほど回答に誤差がござい  
ましたので申し上げたいと思っております。台数につきまして  
合計十台というふうに申し上げますが、九台で  
ありますので訂正いたします。

次にじんかいの収集が親切でないというふうな御指摘で  
ございまして、私ども本当に遺憾に思っております。ごい  
ますのが、市長の方針からいたしまして、市民に対しま  
す親切であるということございまして、御指摘の通り  
すぐに係員に命トまして、そういう面々の注意を促して  
そういう面々ないようにならめさせるということをお前提に  
申し上げておきます。

次に四十三年度にどういふ方針で進むかという点で  
ございますが、御指摘のとおり、今、伺いました点は  
もとよりでございます。そうした点うないように進む  
という点と、それから収集の關係でございしますが、  
その点につきましては、一応対象の容器を中心として  
収集するという考えでおるわけでございます。しかしな  
がら、衛生組合長さん、会議におきまして、そうした問題  
がある、あるわけでございまして、中には、そうしたものを  
常習とするものがある、困るではないかという点等、  
いろいろ細部、御注意、御指摘があるわけでございま  
す。とにかく、先ほど申し上げましたように、料金的に  
指定いたします容器をもつて収集の対象とする  
というふうな考え方で、その当時、組合長さん方にも  
お願いいたしまして、たわけでございます。

一カーナがらそのときにも申し上げたわけでございますが、  
年間を通しまして清掃法に基きますところ、春  
秋等、大掃除がございます。或いはまた、その他、お  
祭りとかがいろいろ関係で各家庭が大掃除等を実  
施いたしまして、祭器に入りきれないものについては、一応  
名札を付けておいていただく。別な祭器でもいいという  
ふうに申し上げて御協力をいただいておりますわけござい  
ます。ただそれを放任し過ぎますと祭器以外の  
ダンボール等に入れたものがふえてきて計画収集と  
いうものも乱れてくるという点から組合長さんの方  
御意見も伺いまして、祭器収集以外の場合には  
札を付けていただくという方向に考えてお願いを申  
し上げておるといのが現状でございます。

なお、四十三年度におきましても、そういうた方はかえす

いきたいというふうに考えておるわけでございます。  
 ーカーなどが、これが全然おらないから取らないという  
 ような考え方は市が作業員として考え方をしないのだ  
 原則的には方針としては今申し上げましたようにする  
 うだけれども、という考え方で市が職員だ。環境衛生  
 を担当しておる職員であるうだから、金を出す。出  
 さないにかかわらず、基本的な精神は、その精神が  
 いくように指導しておる次第でございます。今後  
 もそういう線にまよって考え方の正しい作業員と  
 いうものを教育をしていきたい。そういうたいしていろいろ  
 の誤解或いはそういうたいしていろいろに私も今後  
 努力していきたい。ニヤように考える次第でございます。  
 ・土木課長（飯田治男君）土木費の中、賃金金関係  
 につきまして御説明申し上げますが、道路維持費

関係は学用り市で使っております人夫の賃金で  
ございまして今年度から車柄の引き上げ等もございま  
すので多ク上っているかと思ひます

それから公園費のほう賃金でございしますか これは臨時的  
に清掃人夫を頼りまして公園関係の草取りとか  
そういった作業をしてもらうために盛つてあるのだ

それから城山に始まりますくじく園の飼育所に二人  
頼もうというのとございまして関係で多少ふえております

。二番(関氏夫君)衛生施設課長さんの御答弁非常に誠  
意がある御答弁をいたしまして満足でございします

私がなぜ三という質問をしたかと申しますと潮干  
りりの方に住んでおるわけで、もとはおウリが  
ゴミ集めを始めた頃はきいになつておったんです  
が、最近潮の引いたときは上から流れてきたゴミが

たまるわけですから。ところで、最近のようなゴミの集  
り方をしておりますと残ったゴミはどこかに市民は  
各自捨てなければならぬ。車を自分で持っておけば  
捨てられますが、かい家庭の方が多いため、どこかに捨  
てる。川や近所など川に捨てて。当然のことではござ  
います。ただいま御答弁のようにより市民（サ  
ービスという）を十分金額に置きかえまして四  
十三年度はそう収集ということに徹底していた  
だきたいと思うわけではございませう。以上要望でと  
ごいます。

それから商工関係と土木関係の賃金の御説明も  
了承りました。

秋、これを質問したのは本年度の予算書により  
まして給与合計が三億五千二百万、その他に特別

会計を入れますと、三億九千万近くなる。賃金を入れますと四億になるわけでございまして、これは、予算書における市税、四億千八百万にかなり近寄るわけでございます。二とに市民が直接役所に納付するところの市民税とか、固定資産税とか、都市計画税、軽自動車税だけを考えますと、それを全部人件費にぶち込んでみても足りないというのが現状でございまして、

最近国におきまゝでは財政の硬直化というのを非常に言われておりますが、地方公共団体におきまゝではなお、そう硬直化傾向がはたはだしくなつておると思ひます。それが館山市の場合には人件費による硬直ではなからうかと考えられるわけでございまして、

ですから人件費の膨張というよりは、極力おさえていただくまい。市長さんも先日言われまゝたが現

在り定数で当分をさすといふたいうお言葉でござ  
いますので、二、三十分担当課長、御留音心を  
お願いいたします。

それから、給料等を人件費、賃金だと物件費だ  
というところに私ども聞かされておりますが、なるほ  
ど土木関係などで工事を承ります賃金は、ど  
んどど、道だとか建物に關係いたします。物  
件費と見てもよろしいかと思ひますが、役所の中へ  
臨時にきてゐる人たちの賃金は本質的には人件  
費であると思はれるわけでございしますけれども、そ  
こで賃金を含めた人件費を極力おさえるように  
努力していただきたい。かような観点から御質問  
したわけでございします。全部了解いたしました。

二〇番(中村省吾君)九六ページの水産業費に關連いた



—まゝで、一点お伺い—たいと思いますすが、この水産関係の中におきまして、当館山市におきまますところ、水産関係の増産と言いますか、そういう事業面について、計画が投石事業というところで、百四十五万六千円盛られておるわけでございます。その他、一千万円ということもありますけれども、直接漁業における増産という意味における計画は、この一件が上げられるわけでございますけれども、この投石、いわゆる築床でございますか、こういうたような魚礁を設けるに当って、いかなる計画にまゝて実施されておるか、また従来の館山湾におきまますところ、魚礁、こういうた既設の魚礁が、どの位ありまして、効率というものがどうなつておるか、従来設置されてきた魚礁と、今回実施されますところ、魚礁と、関連性、いわゆるそういう目的から

生ずるところの計画というものをお話願いたいと思ひ  
ます。なおさらに富崎における五十万の内訳で  
ございますけれどもこれは魚礁であるのか、あるいは  
築磯であるのか、そういった点を御説明願いたいと  
思ひます。

農林水産課長(伊藤幸太郎君)お答え申し上げます  
富崎の關係でございますがこれは投石事業で  
ございます。

大体ニセリムしへの勝田産の投石を行ないたいといふこ  
とで概算五十万を計上したものでございます。

今までの構造改善事業に伴ひます投石事業は今ま  
で「関係」といふことにつきましては、今資料を持ち合  
へておられます。次の機会に申し上げたいと思ひます。  
本年度は先ほどもお話し申し上げましたように船形

と富崎の投石。ニウニカ所を予定してゐるわけでございますが、ニウラの計画に當りましては、まず地元の漁業組合については、漁民の方でございますけれども、組合の方から一応希望。そういったものが中心になるわけでございます。同時に果におきますと、ニウの構造改善事業のワケというものがございまして、ニウのワケにあてはめる。その範囲内で年次の計画をしていくだというやり方をもつて現在進めております。

いま一つは効果と申しまうか。ニウはもちろん、私もとしましては、セツかくニウの費用を投じまして、実施するわけでございます。当然、それに伴います効果というものはなければならぬはずでございます。また地元の関係組合としましては、年々ニウのような仕事が増えらへてゐる以上は、従前のものが、それだけの

効果を持てゐるが故にある程度、地元負担金を  
おこなうてゐるやだというところで考えてゐるわけ  
でございます。現在まで行なわれまいな点につきま  
すは後刻、資料をもちまゝてお答え申し上げた  
と思います。

・二番(中村省吾君) まず、富崎の投石であるというこ  
とでございまして、そうしますと、もう一点、お答え  
痛いがあるんですが、私、質問が足らなかつたんです  
が、富崎、布良におきますところ、投石といひますと、  
魚礁を作るのか、或いはまた、磯根殖業のうち、あわ  
び、さざえ、或いは海藻類、ニラといったものを繁殖  
させるものを作るのかというところが、もう一点、ござい  
ます。投石でございまして、勝山産と言われまゝ、投石による  
繁殖、磯だろうと思ひます。ところがこの事業をする

前に一体富崎における小ブリを対象としたところの魚の  
魚礁を作るのか、或いは天草がないから天草の繁殖  
をさせようかということ、三ついう投石をする。

今まで実施されてきたところの岩礁による磯根青掃、  
三ついうものがあり、効果がたいへん。二年位しますと、また  
雑草がふえてしまう。従つて新しい石を持ってきて  
そこに資糧を繁殖させる。三ついうわらわの如き磯の  
わらわになるわけですが、そういう点から富崎における  
この目的というものがどうなつておるか、その点が一応あるわ  
けです。

なお船形地区におきますところの魚礁ですけれども、  
後刻資料をもつてということでございますので、なお  
要望して参りますと、従来行ないましたところの投石  
による魚礁はブロックを落すわけですが、その魚礁投

置というものが深度どう位うところにとり位う面積をも予てきるならば何段積みう方式を取つておるか、それから魚類をどうしような魚類を対象にしておるか、これは季節的にも關係がござります。それで今回、実施——ま——たところう魚礁作成が従来う私効率と申し上げま——たうは、一ぺん投石——ま——て、それが果たして所期う目的を達するよう投石されておるか、どうか。従つてそれを点検する必要がある。その点検の結果によつてまだ不十分である。

これをなおかつ補足——なければならぬという音へ味における投石かどうか、なお一点申し上げますと、魚山湾におきますところの従来う、昨年行なわれま——た魚礁作成におきま——てはいなだが相当の効果を上げておると思ふ。これはある程度う漁獲高を上げて

いると聞いております。ところがたいにいたしますと鯛は割合に深いところに集まるわけでありましたが、そういつた、いかなる魚類をどういうふうな魚礁を作ることにしようとするのか、それから魚類は季節的に集まってくる遊泳魚というのがあります。習性による、その道に對してどういう魚礁を作っておるのか。以上、いろいろ申し上げました。そのような観点からなお一点申し上げます。

こゝに従事する小ぶり業者の對象がどうなっておるか、主として作成された魚礁を季節的に何月はどういう魚礁が多く使用されておる、そういったデーターを示していただきたいと思います。

私詳しく申し上げましたのは、こういう観点から計画画をなすわけば、魚礁作成というものは、無意味になるわけです。今まで、館山湾におきます魚類がどういうような遊泳

習性によつて、どういつ回踏にどうまうに集まつてくる。そういうことをわかつて、こゝことを計画しない限り、ただ單なる投石に終つて、もうわけがありません。従つて、そういうた綿密な資料を提出して、いたゞいて、やつて、いたゞきたい。

それから富崎のあるいは西岬付近でも行なうこととて  
てしますけれども、築磯事業というものが大体  
今までの岩爆にせよ二年位でもとに返るものであ  
ります。が新しい投石をせよ何か海藻類  
をたとえば天草にせよ天草を繁殖さ  
せるということが付近の雑草がありまふと、雑草  
の方が早くふえるというものが今までの常識なんです。  
従つてこの投石を行なう前に岩爆というものを  
並行しなくても、効果があるかどうか、そういうことも一つ



御報告願いたい。以上、大体の資料を提出することを  
お願い申し上げます。この水産関係は私打ち切り  
たいと思いますが本市におきますところの漁業対策  
としては非常に遅れておるわけでございます。従って  
まだまだ館山湾におきますところの魚礁作成等を取  
り上げて手を付けなければならぬ問題がたくさんあ  
るわけでございます。それでなおかつ今後漁業の  
向け方によつてはきわめて館山湾を高度に利用す  
るという面から非常に重大な要素になるわけです。  
ですから特にこの問題を擧げたいわけでございます。  
うで綿密なる資料の提出をお願いしたいと思います。  
それからもう一点お伺いいたしますが、社会教育課長  
にお伺いいたします。

市長、施政方針の中で社会教育課に二名、体育

指導員を配置するといふことが述べられておりますけれども市長の施政方針の中では、国体を目前にひかえまして、当市といったしまゝでは十分なる体育指導をしていきたい。特に本市の特技であるところの水泳、柔道、剣道について格別の配慮をしていきたい。このように申されておりますが、これにつきまゝでは社会教育課において二名の職員を配慮すると、このことで具体的にどのような指導をするか、細かく若干申し上げますと、たとえば、中学校の体育指導、小学校の体育指導、或は、社会一般の体育指導、それぞれ個々の違った要素があるわけでございます。また、中学校の体育指導といふことになりまゝと、水泳から、柔剣道、テニス、バスケット、あらゆるものがござります。中学校におきましても、小学

校におきましても教育という一つの定められた基本要  
領に基いて或いはまたその学校が特殊性において  
体育を指導しなくてはならぬわけですから、そこに  
社会教育課に付属さしよる職員との関係、或は  
学校が教師との関連性、このようなものをどう対立  
させていくか、この点を詳しく御説明願いたい。

・社会教育課長(原間利一君) 答え申し上げます。

社会教育課に体育指導員を二名置くというように  
ことで御質問があったわけでございしますが、予算上  
は私ども社会教育課は社会教育費とそれから保  
健体育費の二目になっておりまして、これは七項の  
保健体育費の二節の給料、職員手当、共済費  
省略いたしました関係で説明漏れで恐れ縮てござ  
います。給料八十五万二千円に従来のプール監視人

一名計三名分で計上されてゐるわけでございます。  
 そこで御質問いただきまゐりました体育指導員でござ  
 いますか、市長の施政方針にもございまして、まうに  
 本市におきましては、従来から社会体育の振興という  
 ふうなことで、その重要性が強調されておたつたわけでござ  
 いますか、特に私ども社会教育課といたしましては、  
 いわゆる社会教育一般と社会体育の振興という  
 二本の柱を主管事項として、従来五名の社会  
 教育課職員で進んで参つたわけでございします。  
 特に社会体育につきまゐては五名の職員のほか  
 に非常勤職員といたしまして十五名の体育指  
 導員をお願いいたしまして、仕事を進めてい  
 ただく点が一つと、それからもう一点は歴史が古  
 うでございますが、館山市の体育協会の協力を

いただきまして、この方面の仕事を進めて参ったわけ  
でございます。その仕事のおもなものを申し上げ  
ますと、いわゆるスポーツ人口の増加をはかる。

言いかえれば、初心者、普及指導という点が第一  
点、第二点はそれらを基盤にいたしまして、もちろ  
ん学校教育、社会教育、なかうはぐまれた体育  
水準、或いは技術ももちろんでございますが、それら  
を基盤に、ましてレベルアップ、二点が私ともう  
仕事、<sup>二</sup>焦点になろうかと思つたわけであります。

その<sup>二</sup>焦点を進める仕事といたしまして、先ほど申し上げ  
ました初心者指導につまましては、体育指導員  
非常勤十五名、職員の方々と種目、レギュラーの方  
にお願いしまして、スポーツ教室を三、三年来、五  
回進めて参つたわけでございます。

このスポーツ教室を通して、学校教育の中で行なわれる体育相まう、スポーツ人口の増加をはかろうとする。

これが第一点でございます。さらに最近青少年健全育成というふうなことをスポーツ振興とからめてスポーツ少年団行事の育成・振興というところが加わっております。さらにはレベルアップ、スポーツ人口の増というところで先ほど申し上げました本市体育協会の御協力をいただきまして、それらの仕事を進めてきた。こういう初心者指導を通してのスポーツ人口の増とレベルアップを考えたときに、私も一般社会教育と言われます成人教育、青少年教育に加えて社会教育団体、さらに文化団体、文化財団体の仕事をこまに、五名の職員でやるということでは、セツかく盛り上げてきました。社会体育の振興をいって、立

つものといた—ま—では、まことに申しわけない。ここに体育関係の職員をせむ二名をお願いしたい。

許さるるならば、三名でもという二ことであったわけですが、さすが、結果的には、たまたまそれらの振興の場といたしまして、四十八年国体が本県に開催される。加えて柔道、剣道等が本市で持たれる。そういうような観点から、体育関係職員二名を常勤として、社会教育課に置くならば、そのせつかく置かれるものは、ふたつ運動経歴のあるものが望ましい。今ではないかというふうなこともありまして、二名中、一名は、市長が申され、ま—た—ように、体育指導専門のものを加えたらどうかという話に相なったわけですが、いいます。従いまして、この体育振興につきま—ては、この二名が全面的に学校職員、或いは社会体育委員関係者と関係な

しに二名で社会体育の指導に当たるといふことは絶対にあり得ないと考えるわけでございます。

ただその専門指導というところで水泳ということを計画いたしましては過程におきましては現在小中学校で行なわれております体育指導の中で特にスホーティング水泳関係につきましても嬰兒見つけの育成というところで学校体育には学校体育本来の目的があるところはないか。だとして学校職員に生徒を対象にすいわゆる初心者体育の普及というところでレベルアップをお願いするといふことはやはり職員構成から至難ではなからうか。ならばトップレベルのものを二十名でも三十名でも一堂に集めて水泳教室のほうな形で学校関係者と提携しまして専門の方フルにシーズンに活躍していただければというふうな。



ことから体育専門指導員という表現になったかと思  
うわけでございます。従いまして御心配いただきま  
した学校教育との関係、社会体育との関係、特に  
そういつた中で教師としての仕事や上での人間関係、技  
術的交流関係につきましても現在の時点におきまして  
は一向に心配ないと考えております。ただ問題は二名  
中一名につきましても先ほど申し上げましたように体育  
関係職員ということと専門の方ということになる  
わけでございますが、その具体的なことにつきましても  
は人事のことに相なりますので、教育長にいかる  
べきお願いはしてあります。が現時点におきましても  
は、もしどのような形でということでございます。たならば  
教育長の答弁でお許しをいただきたいと思います。  
以上でございます。

ニ番(中村省吾君)大体了解いたしました。ただ私がお聞きまうたうは市長の施政方針を真に受けますと率直に申し上げまして学校教育というバランスの面で問題が起きるではなからうか。学校教育というものと問題が起きてはいけないというところでお聞きしたわけでございまして趣旨よくわかりましたでありますので、どうか一つ、そういう意味で体育専門委員でございまして、特に国体におけるところの特技として三つは選手養成もある意味から申して結構だと思ひますのでよろしく願ひいたします。

くふくふも学校教育という先ほどの人間関係指導面う摩擦が起きないような配置をよろしく願ひいたします。

議長(老田勇治郎君)暫時休憩いたします。

午後二時四十八分

休憩

午後三時三十分

再開

・議長(吉田勇治郎君)休憩前に引き続き会議を開きます。  
・八番(黒リ正君)ごく簡単なことで一点だけお伺いしたい  
と思ひます。

先ほどから土木課長さん御説明を聞いておりまゝ  
が、その中で一〇七ページ目四

十五節(用惠水路工事請負費)でございますが、  
用語の上から見てどうも衛生費に属するものでは  
ないかという様な感じがするわけです。一方八三ページ  
の十五節(工事請負費)中に大塚場道路の舗装  
というところが明記してある。衛生費の中に含まれて

おる。

もう一つ、ハッピー二十五節排水路工事請負費。これは衛生費に属しておるように見受けられるのであります。なお、きょうの問題にはありませんが、特別会計の方にも見受けられるというようにも考えられるわけでございます。二つらう工事の所管の分岐点はどこにあるかということでございます。

一方申し上げましたように、道路の舗装というものは土木関係ではないかといううな気がするわけなんです。そうしますと、二つ分岐点を取ってあるか。二つは全部土木事業というように見受けられるんですが、どちらか所管を統一できないものだろうかということでございます。と申しますことは、昨年のことですが、ある学校の先生がお話ですが、雨が降って市道が非常に悪いからなおります。

いただきたいということで電話で土木課に連絡した。

そう——またところあけは水道工事をやっておるためなんだから、衛生課に連絡したさう。——というお話であった。

それで、衛生課に連絡したところが係がないからということであつたので、その後連絡を取ったところが、同トうなあいさつ。こゝてはとくに連絡したういだろうかというところでございました。工事は何とか一本立にならないものか、或いはお互いに話して何とか市民に了解のいふやうなことにならぬかというところでございます。窓口の簡素化、事務の簡素化をはかっている市がどうも疑問を感じるといふことでございます。——この理由を御説明願いたいと思います。

財政課長（長谷川広治君）予算編成のことでございます。私の方から御回答申し上げて、なお個々う問

題にやりますすが所管課長が御説明申し上げます  
 予算の編成関係でございしますが、今御指摘のと  
 おり各款にわたっておりますが、私も考へ方は  
 用悪水路のうち工事関係と申しますか、それを設  
 定するまでは土木課の所管、それから用悪水路  
 ができましてから、その維持管理は現在衛生施  
 設課で取り行ない、そういうことで同用悪水路、或  
 いは排水路等におきましても二つに分けてございま  
 す土木課がこしらえるまで、こしらえて、まづその維持管  
 理は衛生施設、こういうことになっております。

それから道路の關係につきましても、確かにそういう御  
 指摘もございしますが、これは正規の市道として認定  
 いたしますと土木課が所管になります、それから土木  
 本費に計上するということになりますすが、ただ行政

財産と申しますか。それぞれ、施設を各課で持っておりますわけでございますが、そこまでの取り付道路などにつきましては、石前は道路になっておりますが、通行路というような関係から、正規の土木費には計上いたしませんで、それぞれ施設を持っております課に所属する款項目に計上しておる。そういう区分でござい  
ます。

八番(黒リ正君) そうしますと、今のお話では、たとえば大  
葬場、前の道路の舗装ということは土木課でやる  
という、ことにはなるんですか。

財政課長(長谷川広治君) 大葬場までの道路につきましては、取り付け道路というものは考え方で、大葬場の内、敷地の一部であるという考え方でございまして、市道として認定をいたしてございまして、予算のとおり

衛生施設課が大葬場を所管しております。

衛生費の中に組み入れてございます。

八番(黒川正君)一般会計にはございませが、特別会計の方  
と見ますと、と場、道路を修理するのだというこ  
とがうたつてある。そうしますと、道路という事にな  
ると土木課がやるように感じられる。その点、はつ  
きりないために、さつき申し上げたように、市道を  
水道がやるんだということですね。あるいは、水道にいか  
くちかわらないかということは何とかはつきりできな  
いものかという事をお伺いしたわけです。

衛生施設課長(吉田耕一君)ただいま財政課長の方から大  
体締めの考え方は申し上げたわけですが、内務  
につきましても、二、三申し上げたいと思ひます。

大葬場、件につきましても、大体、おわかりではないかと思ひ



います。あう地点は火葬場に必要なために市が借  
り上げて、火葬場に必要な道路として借り上げ。  
またたわけでございまして、その道路が狭いというところから  
それを拡張し、さらに今回舗装いたしまして、お客さま  
の便利をはかりたいと考えまして、財政課長が話した  
とおり、私ももう主眼でございまして、私ももう  
方で計画設計等をお願いいたしまして、この予  
算に計上してあるわけでございまして、なお、と場関係  
の道路でございまして、あそこうほんうクー市道  
でございまして、五メートル位でございまして、そ  
の以外はと場に必要な道路といたしまして  
借り上げてあるわけでございまして、また、その構  
成と申しますか、市有地内にも道路を一部使  
うて、おるわけでもございまして、と場、一切の管理をいた

してあります課でもそうした維持管理と  
いう面う経費をと場合計でお願ひするとい  
ふうな考え方でここに計上してあるというわけであ  
ります

八番(里)正吾)だから私が申し上げることは結論は水道  
の所管であっても衛生の所管であっても土木の所  
管であっても中の庁舎であるうだからお互いに連  
繫も取って市民に二たえていたいただきたい。こ  
ういうよ  
うな処置を取る方法をそう前にきめていたいただきたい  
という二となんです。もう一つても所管が確うからと  
いう二とで了解いたります。

ただお互に同じ庁舎にあるうだからよく連絡を  
取つておよは水道の部だ。同じ市道で水道工事  
だから土木は知らないうだということになしになる

いによく連絡を取つてゐていただきたいということ。  
私は要望するわけなんです。

衛生施設課長（吉田耕一君）　そうように私もいたすという  
ふうにお答え申し上げたいと思います。なお、ただいま  
水道関係でございしますが、私も担当しております。  
その目的に使用する部面につきましては、十ヶ所  
管の課と連絡を取り、特に水道事業うために市道或  
いは国、県道というふうなものを使用させていただく  
段階におきましては、文書を持ちましても使用願ひ  
の許可をいただいて、そうして主管課がその事業  
をやるというふうな関係で実施しております。

ただ、ただいま御指摘の親切が欠けた点につきまして  
は、今後いつそうとういふ点に留意いたしまして、御  
迷惑うかがひないように進めていきたい。このように考

えております。

八番(黒川正君)　どううに今後十分御連絡を取ってお願  
い。たい。私の質問を打ち切ります。

一五番(石井正君)　二三お伺いします。

まず第一点は九九ページ商業関係に関連いた  
します。市長が施政方針の中でいわゆる求人  
難の対策といった。まして将来従業員宿舍を設  
する用意があるといううな言葉を述べてお  
すが、これが構想につきまして一つお話を  
お伺いいた  
いわけでございます。なお予算面にも見え  
ませんのでございますが、将来の構想について  
お伺い  
—たいと思ひます。

第二点は一〇八ページから一〇九ページにか  
ける。いわゆる登山道に切りられております。横橋の修理に

関係いたしますが、前日も私は二、三点については申し上げておりますが、議事録をお聞きいただきたいと思います。今、今回百六十万が再度建設費にのつておりますが、棧橋を県営に移管するということにつきまゝ再三私は土木課長に追及をしております。いろいろ答弁はいただいておりますが、その県主移管について陸緯と文勝経緯を明確に御説明願いたい。

第三点は、一〇〇ページ公園費に関連いたしますが、城山は県営の公園ということに私了承をしておるわけでございますが、今回また大へんな費用をかけるわけでございますが、県と市とで城山につきまゝ話し合ひがどういふになされておるか、いわゆる県が補助が少ないうこと、市が三に観光

面から大きな費用を投ずるということはわかるや  
に思いますが、もう一つ、ニグ中にも出ております  
国定公園の補助金を市から出してあります。

この補助金を出して、いながら、この国定公園に対す  
る県の方からの援助、補助がどうように今まで  
なされてきておるか。また城山に対して、特に問題  
につままゝでは、細かく御説明を願いたい。

もう一点、消防費の関係で一五ページ、消防関  
係におきまゝでは、非常に大笑が多いわけであ  
りますか。ホニアと水利というところは、両面でござい  
ますが、片方が落ちまゝでも、仏作て魂入れず、というこ  
とで片方が欠けても、何れもなうないわけではござい  
ますが、こ  
こに二、三野水池の予算が出ておりますが、金般に  
わたりまゝで、熊山市のいわゆる水の問題、これをどう

把握されておるか。いわゆる全般をながめまして予  
算とり関係もございまして。長期にわたる  
見通しの上から、館山の水の問題につきまいて  
どうように考えておるか。それから、二いに関連して  
九重小学校内にありますところの貯水槽が、前  
々から破損して、まいて水がなくなるわけでござ  
いますか。二水利用をいかにいたしたか。現在水が満  
たになっているか。二点もお答え願いたい。

水の問題とともに、自動車ポンプの購入が大事なこ  
とにわかりますが、前者からいろいろ自動車ポンプに  
つきまいて出まいたが、水が非常に不足しておる。  
その面から、二間、山、筏、川を見まして、今後購  
入する場合には、タンク車をふやすというところが、大  
きな考え方がありますか。二点、二点について。

御配慮についてどうお考えですか。以上四点。  
市長(本間譲君) 石井議員の御質問に對し、まゝ  
お答えいたらないと思います。

店員宿舎について予算がないということでございます。が、これはまだ予算には計上してございません。現在中小企業者です。が、これが一番悩んでいることは店員従業員確保ということ。大きな問題でございます。が、これはいろいろことがございます。けれども、給与の問題、それから厚生施設の給与の問題、ということが言われるわけでござります。給与の問題につきまゝでは、だんだんよくなっております。かと思ひますけれども、厚生施設に對しては、大企業には絶対に追いつけない。現在の熊山市の中小企業、情勢では中には施設を持っておる方もござ



いますけれども、金般的には、直いつけないう状態でございますから、私は金館山市の商工業業者の従業員や宿舍を作つて立派な中に厚生施設もある――給食制度もその中に入れて、そうして五百人でも一千人でも、収容できるもうを商工業関係者によつてこれを建設していくことが非常に大切じゃないかと思つておるわけでございまして、それをこちらの方から指導する商工業業者の手によつてこれを建設するようになつて参りたいということなんです。

とにかく商工業業者にとりまゝでは昔は一にも二にも三にも金でございまして、今はいい人を得るということとは金と並んで重要なわけでございまして、仮りに大時に店をしまつても、家庭の監視の中におつて従業員としておるといふことは、今の時代の人

は好まないんですわ。それにひきかえまして大きな  
 企業の方は立派な宿舎ができておる。その中に  
 はいろいろ厚生施設もできております。そういう関  
 係上一定の時間がくればそこにいて本当に体を休め  
 ていろいろ勉強もできる。そういう施設があります。  
 から大企業の方にいく一つ要素でございますわ。  
 そういうことを補う意味におきまして各員が共同宿  
 舎を奨励しよう。商工会議所関係の人に対  
 してすでに話をしておりますが、それが実現する  
 そうな場合になりまして市としても検討し、ま  
 或いは県にもそういう制度がある。そういうものが  
 できる場合には何らかの助成方法があるのでは  
 ないかと思ひます。市としては、できるときには  
 できるだけの助成をしようという趣旨でございま

市が建設をするということではないわけでございますから、それで御了承願いたいと思っております。

それから、棧橋、県立移管に対して果の方とどういう交渉をいたかというお話でございますけれども、これは果の方にはたえず運動もやっておりますけれども、それも、それよりも、現在、館山湾、一部埋め立てが、館山、棧橋に全部かかると、北条、棧橋までは、いかな、いと思ひますけれども、こゝ、実現の方、いろいろ力をいれておりまして、残るのは、北条、棧橋ということになりますかね。これにつきましては、これから果の方にお願ひしようと思ひますけれども、今理の立て、実現の方、大きくかま入れておるわけでございまして、従いまして、昔から、館山、棧橋は、一応、こゝが、実現しますと、な、なるわけですね。一、北条、棧橋が残るということに

なれば、二つにしましても、果の方にもいろいろ運動  
 して参りたいと思うわけでございます。

それから城山公園についていろいろお話でございます。  
 けれども、二つは詳しいことは課長から話します。  
 けれども、果の方ではやはりいろいろに配てくわて  
 おりますが、現在、展望台は果の方でござい  
 いた。それから、冷水施設、児童遊園地、そう  
 いうものは、果国も幾らか入っていると、思いますが、  
 そういうことでございいたしておりますけれども、今  
 ろうとしておりますけれども、園については、助成があ  
 りたいというので、知事に話したら、可とかやって  
 あげたいということをしておりまして、たけれども、建設  
 費に緑地公園課というのがあるんですが、そこにいつ  
 て話したら、いつではないかということですが、先般

建設省の緑地公園課長さんと会いまして、いろいろお話をしたんですが、新しい事業に対しては、財政硬直化ですか。たてまえていけないと。またそう言う鳥を飼つてゐるというのは、助成の中に入つておらないといふんです。入つておらないけれども公園のことであるんだから、心配してもらいたいということでお願ひしてきただんですが、ちつと建設省の方では無理ではないか。それより知事の方にもっと働きかけて、やめていなければならないと考へてゐるわけでございます。

それから消防の水の問題。これは消防長の方から回答していただきますけれども、現在の予定水道が、できますれば、消火栓を設けなければいけないというのが、水道法にあるわけであつて、那を船形にも水道ができる。富崎にも水道ができる、ということにな

ば、その消火栓によつて大きく消防の役目が立つと思  
います。——か——それう届かない場所もあるならば  
特に今年はそのカ所を予算をお願いしてあるん  
ですが、幾らポンプが立派なもうが、入りましてもさう  
きうお話のように道路が入りなかつたり、水がなかつ  
たりとは意味がありませんから、これは消防署の  
方でいろいろ検討しておりますから、消防長の方  
で回答いたします。

それゆへ城山公園の関係については、土木課長から  
くわしいことは申し上げたいと思つてます。

土木課長（飯田治男君）補足いたしますが、国定公  
園整備負担金は、一応休暇村を中心といたしま  
して、厚生省の方で計画を立てた事業費に  
対しての負担金でございます。

今年は休暇村で残がまゐつたので、それを城山公園の  
方に持つて参りまして、自動車で上る道路にかー  
ドレールを施設いたしまして、城山公園は南安房  
国定公園の一部に指定されておまして、自然公園で  
あり、また都市計画の方からいいますと、都市計画  
決定を見ておりましたので、土地は大蔵  
省と正式の借り受けの契約が結ばれてない状態  
でございますが、今申請中で三月いっぱいでは  
大蔵省の方と無償締結をできるといふような返  
事をいただいております。

都市公園と自然公園が重複しておるような関係で  
ございまして、自然公園として今までに事業をや  
つてきたものでは、頂上展望台、それからさつき  
市長がお話になりましたふもとから、揚水工事、

そして今年度行ないましたガードレール。これは国  
庭公園事業で行ないまして、厚生省予算で市  
の負担は三分の一となっております。三分の一が  
県で三分の一が国でございます。

それから四十一年度一応公共事業で上りテ置敷  
に百八十万円を投じまして、児童公園を敷設  
しております。これは国が三分の一、三分の二が事業  
主体で負担する。その他、工事は一応市で  
つットの植栽とか、つばき、そういったものを今までや  
っております。城山の件は、大体かような状態に  
なっております。

消防本部長（岩田実君）お答えいたします。

先ほど石井議員さんから、お話がございまして、消防  
ポンプと水利というものは、車の両輪でございます。





こういふことがいわれる状況でございます。

ただ四百里所の水利でいいかと申し上げますと、決りて  
そうでございまして。ただいま国で示してあります  
消防水利の基準というものがございまして、一昨  
年までにかゝる水利の基準によりまして、市  
街地ではどんな建物からでも一メートル以内の  
地点に三十分放水できる水利がなければならぬ。  
なお農村の方面でも一メートル位のところにと  
ころ建物も水利がなくては行かない。こういうふうな  
基準が出来たわけでございまして。これに基きまして  
一昨年私の方で地図状に現在の水利を配置  
いたしまして検討いたしまして、約百五個位  
建設いたしますれば、どうやら国の水利の基準に  
合うのではないか。という線が出来たわけでございまして

がただ御承知のように市内至るところに新しい建  
物や建設が進んでおります。安房高の東側うま  
うにまたたく間に十数戸、あるいは二十戸という住  
宅が建設されておるわけでございます。一昨年は  
或いは昨年の基準をもとにいたしましては約十  
年位でもう大体一年に十個の建設をいたします  
れば十年で大体水利の基準を満たすようにな  
るわけでございますが、次から次に宅地を造成が  
ありまして建物もふえて参りますので、やはり今  
後十五年二十年たたなければ国で定めます基準  
に適応するようにならなはいか。三つう  
ふうに考える次第でございます。以上が現在  
水利の状況でございます。

それから九重の小学校校庭内は野水構でござ

います。数年前に前々館野の農協の入口の  
野水槽があるところでございますが、これも西の方とも  
破損いたしまして水が漏るというふうな要望が  
ございまして、館野の農協の前々野水槽は  
水利にて完全になったという記憶ははつきりして  
おります。九重小学校の中のものも同時に  
修理したというふうな考えておるわけでございますが、  
はつきりとミミで完全になつておるといふことは申し  
上げかわるわけでございまして、その点につきましては  
調査いたしましてはつきりと御回答申し  
上げますが、もし修理ができておらなかつた場合  
には早速修理いたいと考えます。

それと、タンク車の問題でございまして、タンク車  
は御承知のようにな、大体二、三リットルの水を積

んでおります。燃えておる現場に参りましてすぐ放水でできるわけでございまして、非常に便利なものでございますが、ただ難点は、二トンリットルが重量があるわけでございまして、旧市内のようなアスファルトの舗装された道路ならば、自由に使用できるわけでございますが、農村部落の狭いところに参りますと非常に行動に制限されるわけでございまして、現在消防署に本署に一台、船形分遣所に一台、二台のタンク車を保有いたしまして活躍しておるわけでございしますが、この二台のタンク車があればよいんじゃないか。これ以上タンク車をもふやしても、これをフルに使用するだけや道路状況がまだよくないからではないか。こういうふうに考える次第でございしますが、市長からも先ほど御説明があったように、市長

は農村部落の道路という点に對して大へん関  
心がありまして昨年も私の方で三こと三に消防車  
も救急車も入れないやうだということも調査いたしま  
建設課の方に連絡したわけですが、徐々  
農村部落の道路も改善されるわけですが、いま  
その時点においてタンク車をもとふやすのかどうか  
については検討いたしたいというふうに考えます。

なおタンク車と関連がござりますが、市内にガリ  
ン或いは重油等の危険物や貯蔵所が大体百  
四カ所ございます。スタンドと申しますると四十カ所  
位あるわけでありますが、このガソリン等の消火  
につきましても水ではできないわけがございまして  
タンク車にすまして化学薬剤を使用いたしまして  
消火するわけがございます。現在、タンク車には

わずかに一ロリトルの消火剤しか積んでおりません。  
今後はもと多量の消火薬剤を積みまゝに化学  
車が考えらるべき時代になっておるのではないか。

こゝういふふうに考える次第でございまして、ちやうど船  
形にございます。タンク車も先日と申し上げましたと  
り、大体十年を経過いたしまして、そろそろ更新の  
時期に参っております。化学車を兼ねたタンク  
車を今度購入いたすかどうかというふうに我々消防と  
いたしまして考えておる次第でございます。以上で  
ございます。

一五番(石井正君)いろいろ御説明いただきましたが、ま  
ず第一点、従業員宿舍の問題ですが、施政方針  
を読みますと、市独自で作るようになつて思ひな  
いで御質問申し上げたわけですが、実は商業会

代表の会におまゐるときに、やはりこの問題が生ま  
れて従業員宿舍を市で作してもらえないだろうか  
という質問があったわけでございます。ちやうど施  
政方針の中に、こういう言葉がふたつ、御質問に  
なわけでございますが、ただいまの説明でよくわかり  
ましたので、商業会の方としても、そういうふうな機  
運が現在あるということでございますが、決定の  
節は十分配慮をしておきたいと思つて  
います。

次に二点目の棧橋の問題ですが、これは北条、館山  
那古と三つあるわけでございますが、埋め立て後に  
いわゆる館山、棧橋がなくなるので、埋め立て後、  
北条、棧橋の果てと申しますか、北条、棧橋をどうす  
うに使われるか、方針を合わせて伺いたいと思つて



わけです。

それから公園の問題につきまゝでは観光面から、いろいろ質問も出ておりますが、十分御礼、慮をいただきたいと思ひます。大へん城山もきよいになつて市民が喜んでゐる天竺でござりますので、なお長期にわたりまゝ十分なる施設を研究していただくたいと思ひます。

消防の關係ですが、九重の小学校につきまゝでは、当分二三年前です。からゑたと思ひますが、現在水が十分たまつておらないやうです。これは新築するより補修というのはむづかしいネ、クー位、ゑたうでは何にもならないやうに、工事面からいいますと考へます。十分調査して御回答願ひたいと思ひます。

水り問題につきまゝで、ただいま消防史長から答  
弁がありまゝだが、再度市長さんに伺いますか、  
ちょうど百五カ所ということになる、今年十カ所な  
から十年かかる。住宅がふえるので、まあ二十年  
位かかるというお話ですが、このまゝな進め方で  
いいかどうか、ケイテン水が遅過ぎはらないかと思  
いますか、この点、いかうに市長さんう考えがあ  
るか、伺いたいと思います。以上。

・市長（本間譲君）埋め立て後、北条横橋はいうす  
るか、三いうお話しううでございしますが、これは  
やはり観光館山といつて、ヨットとか、ボートと  
か、或いは遊とか、或いはつりとか、水泳とか、そういう  
ためには存続してなるべく健全な横橋にして存  
続したいと思ひます。それから消防、野水池、

係につきまゝでは、今、消防署長の方から話がございます  
一たけいども、これは道路と相まうきわめて重要な  
ことでございますから、消防の方と相焚いてできる限りの  
処置をして参りたいと考えております。

一五番(石井正君) 桟橋の件ですけれども、今日ように館山が  
なくなる、北条桟橋に東海汽船等、立ち寄ることにな  
るわけで、あうままでは使用不可能になると思ふわけで  
です。そうしますと、埋め立て後は、いわゆる埋め立て  
の岸壁を使うとか、いろいろ方法があろうかと思ひ  
ますが、そういう構想をお伺いしたわけで、私は桟  
橋をなくしろといつておるわけではないので、ただ桟橋  
に非常に経費がかかるので、果敢に、毎年々々  
二百万もかけるような桟橋をいつまで持つておるのだ  
という事です。そういう点で、果立移管を申し

上げてきかわけですが、埋め立て後、埋め立ての岸  
壁が十分使えるような考慮も、二、三、際、あそこを  
利用する業者とて話し合ひの構想の中、に織り  
込むということも十分考えなければならぬと思います  
ので、今やうな質問を申し上げたわけであらう  
です。

それから水の問題につきまゝでは十分考慮する  
 ということでございますか。十分考慮するという  
 お答えはいただけるわけですが、なかなか実践がな  
 されない。一つこゝ議事録まで広げて追及する  
 という方もいないようですが、何度いっても同じような  
 答えが出るというところが非常に多いので、今、市長  
 の十分考える。十カ年では、或は二十三年では、澤々  
 ざるといふことです。ただいまは、そう思ふけれども

この議場を出ていこうと、忘れていこうので、重大な  
問題です。たとえば、プールが火災にあった。

七百万もぽつと出るわけですよ。水利という問題も十  
カ所を二十カ所にする予算もからんできますが、  
十分検討してもうクー早い時期にいわゆる規定  
に基づき野水槽を市内に作るよう、重むる要望して  
質問を致します。

九番(三幣勇君) 四点伺います。六ページ十五節の  
工事請負費の中の車道外側線工事、船形から  
一中に於いて、百三十七万二千円の予算でやるように予  
算説明で伺いまいたが、このときに両側か私が聞  
き漏らしたことはないかと思ひますので、もう一度お  
伺いしたい。それから、八三ページ十九節の負担金  
補助及び交付金の中の館山市、安房郡医師会

病院補助金 ニの補助はどういうような理由で補助金を出すようになったか。また四十二年度の予算書にもありまいだが、二いゝ支払はというふうにいゝやうであるか。幾ら位全部で支払うのか。その点、それから八四ページ十一節の需用費、その中消耗品費が百七十六万五千円に上つていますが、先ほど二番議員さんが二点について質問したわけですが、そのときに衛生課長さんが御答弁で、その活動をという、漠然としてお答えのようですが、この前、予算説明のときに、消耗品費の使用内訳を金額をきちんと出して説明されたと思います。その点についてもう少し、具体的かどうかというふうな薬利の使用のつかという、具体的方法、或いは計画について説明をお願いしたい。それから、この百七十六万

七月の割合はよくわかりました。二ヶ月前の補正予  
算のときに残品が三十万ある。三ヶ月前の御答弁をさ  
いておきますが、残品との関係、二ヶ月前の予算の説明の  
割合の中に入っていない点について説明を  
お願いします。

それと八ヶ月三十一節、二百七十一万七千月の需用費  
ですが、三ヶ月間の焼却能力がある焼却炉に必要な  
需用費が三ヶ月間に対して必要な需用費か、或は  
昨年度中一年間の実績に対して、この需用費が  
必要なのか、一年間のゴミの収集量、焼却量を合  
わせて御答弁願いたいと思います。

・商工観光課長（山田俊康君）第一点、車道外側線に  
ついてお答えいたします。私の説明が不十分だったと  
いうことをお詫びしたいと思います。船形の銀行々と

側山市議会  
こちら一中まで両側に車道外側線を設けます。  
両側で三メートルというところでございます。

保健衛生課長(網島篤治君)御質問、館山市安房郡  
医師会病院補助金百五十万でございますが、これは  
建設いたしましたときに大体総額で千万円を五カ年  
間で補助をしていくようなというところで伺っております。  
それが現在うところ予算と関係連において当初一番  
最初二百万出て、自後百五十万ずつ出ており  
ます。この予算がもし通りますとあと二百万残る  
わけでございます。大牟田というところに相なるわけで  
ございます。それから薬剤の関係でございますが  
大体私の方で計画いたしましたのは、乳剤を共同  
防除に約五千人、油剤を二千人、共同防除と  
申しますのは、部落に出て参りまして、私どもが



散布するものでございます。

公共施設に乳剤三十五かん、油剤百かん、これは学校  
共同防除の際にあまり入らないところというふうによ  
理解いただいていただろうと思います。

ゴミ捨て場に乳剤三十かん、そのような割合で計  
画をいたしました。

それからその問題についての過般が三十万とおっしゃいま  
したんですが、以上。

。衛生施設課長（吉田耕一君）お答え申し上げます。

八大ページで需用費が二百七十一万七千円、経費に対  
しましてお答えしたいと申します。これは御質問の  
とおり、全部焼却場の運営管理に要します。  
ところが費用でございます。なお内訳でございます  
すが、消耗品七十五万四千円、これは焼却場で

運ぶます。自動車のタイヤ類だとか、オイルだとか、  
 そうしたもので、大きな金額で申し上げますと、貸与  
 品になつております。作業衣とか、消耗品でござ  
 いまして、その他燃料等につきましても、車の燃料  
 等が主なるものでございます。

なお、これに要する経費にまゝして、どう程度に  
 収集をしておるかという点でございますが、大体  
 四十二年を見まして、実績が四月から十二月まで  
 見たわけでございますが、これが四一八トンという  
 うな数字になるわけでございます。なお、その他に  
 体の〇・三%位がこれ以外に一般の持ち込み数量と  
 いうことになつておるものでございます。これが大体一  
 四八トンが一般の持ち込みになつておる次第でござ  
 います。従いまして、こういう面に必要な需用

賞関係といふは、まゝで消耗品、燃料、光熱水費、印刷、修繕料、食料関係というふうなものを二百七十一万七千円をお願いしようとするものでございます。  
九番（三幣勇君）第一点については御説明ありがとうございます。  
まゝだ。

第三点、医師会病院の補助の理由について説明がなかったように思いますが、それと大羊間で終りということはあと二回ですか。一千万という大きな補助金を受けている以上、法には規定されていないとは思いますが、こゝの報告の状況と如く、そういうものについて何かの報告があつても、かかるべきではないかと思ひます。けれども、こゝの現状の報告を簡単に結構です。わかり説明したい。それと先ほど、残品の三十万について、私に聞き聞、違ひはなかったかと思ひ

います。が、四十二年度において、残品がなかつたかどうか。それと、ゴミの一年間の収集量ですが、この前補正予算のときに課長さんの説明では、一日平均二・三トンという事です。が、ただいま承知しましたところにより、まずと、約四・二万トン一部数字の開きもあるようです。が、この点は、この前も問題になつたまいな。が、さちんと焼却して、熊山市の環境衛生ということについて、特に留意して、やっていただきたいと思います。

市長（本間 康君）医師会病院の助成金につきまして、申し上げたいと思ひますが、当時医師会の方では、総合的、病院を作るんだから、是非三千万をもらいたい。さうする例も、ない。ぶお、さういふうまい。だが、私も最初うちは、賄に落ちなかつたんです。が、いろいろ何回も検討して見た結果、千葉とか

或いは東京の大学病院にいかないでも、それに相当する治療を行なう。ニラういうようなお話であつたわけでございます。もう一そうだとすれば非常に市民が助かるわけでございます。もう一さげ健康管理の面から一まう一そういう五派な病院ができることは、たいへん望むわけでございます。もう一さういう意味合いにおきまして、それでは一千万円、議会の同意を経なくては。一から一なから、財政がなかなか、そうはいきませんから、一から、二百万ずつ、五カ年間で一千万ということ、で、議会に御提案して御了事を得てあるわけでございます。

なかなか財政が思うように参りません。もう一さげ、去年もおととも百五十万というところで、医師会に対しては、私としては、心苦しい面がございます。けれども、医師

会の方々はみんな市民ですから承願してや  
 えるわけでございます。

この点につきましては、運営委員会というものが設け  
 られておりまして、市におきましては、市会議長さん  
 市長、保健衛生課長がそれぞれ委員になっており  
 まして、年に一回ですが、いろいろ意見を聞かされて  
 いるわけでございしますが、医師会病院もなかなか  
 始めただけで容易ではないと思えますけれども、  
 現在ではコバルトの機械とか、大学にも匹敵  
 するような施設をきいてやっておりますのでござい  
 ます。私が要望するならば、大学の教授をやめて、停年  
 になったような方をこちらにきてもらうことは、非常  
 にいいんではないかと思いますが、東京あたりの方  
 様方は聞きますと、虎ノ門病院ですか、あそこは東

大い教授をやめた方がさてもういいよ。今後そういう  
大学に有名な名があるような立派な人をここに  
お願いしていただくことが望ましい。

私は三三という考え方をしておるわけですが、  
今でも千葉大の教授がきて手術むづかしい病氣  
は指導してやっておりますが、それも結構だと思ひます。  
この医療センターもお医者さんの力でそういう方を人  
でも入れていただくことを私は要望しておるわけですが  
います。現在いろんな施設が充実しております。ま  
ことに結構だと思ひうわけでございます。以上でござい  
ます。

。保健衛生課長（岡島憲治君）三三に昭和四十一年の四月  
一日から昭和四十二年三月三十一日まで損益計算  
書をお願いしておりますが、大体収入において若干

九百九十四万四千五百三十八円・二小に對し、まして収益  
金として二十四万六千四百三十七円が計上されてお  
ります。大体当初の建設の場合、借入金等が  
相当額ございまして、支払い利息が大体一百万程  
度あるようにございまして、次から次に施設の整  
備拡充、私どもが承っておりますのは、看護婦の  
宿舎でございまして、放射線の関係でございま  
すとか、そういうことの整備がかなり金額的に上  
りまして、運営にはかなり骨を折っておりますとい  
うに、私ども感念しております。以上でございませ  
う。九番（三幣勇君）大体了解いたしました。私は特に（四  
ページ）環境衛生費の中、需用費の消耗品に  
ついて伺います。昨年度大幅な減額がありま  
した。かり先ほど来同僚先輩議員が観光という



ことでお話になっておりますが、ほかの観光施設よりも環境衛生が一番大事ではないかというふうに考えから質問したわけでございます。以上でございます。

二九番（鳥野茂樹郎君）一二五伺います。

まず最初に七四ページの社会福祉費の十九節の負担金補助及び交付金、実は二月中で昨年まで計上をされておりました原爆被災者同盟への補助金二万円、これが本年度計上をされておられませんけれども、もう必要ないのかどうか、どういう御判断で計上をされたのか。それが一つ。それから予算編成の技術といえますか、わからないが御教授願いたいですという事なんです。歳入との関係もあります。

けれども、同じく民生費、児童福祉費ですが、  
果ては国、支出金、行方、いろいろと追って調  
べて見たんですけれども、歳入でははつきり、この費  
目が組んであるんですが、歳出になりますと、どこ  
にどうなったのか、わからないという点があります。  
特に保育措置費、これが国の負担金ですが、  
千五百三十二万四千円、それからもう一つ、県、負担  
金で、保育所措置費、百九十一万六千円、こういう  
ものと、それから民生費の中、児童措置費です  
か。これらと、特定財源、内訳の中、ここに計上  
されております、千九十七万一千円、児童福祉施設費  
、二百五十四万九千円、こういうものと、関連が実  
はよくわからないんです。こういう点について、予算、  
編成、技術、ということになるかもしれませんが、い

もお伺いしたいと思ひます。

そういうようなことでやはり国・県・負担金との関係  
があるわけですから、農林水産省の事業費の中で、沿岸漁業改善事業、この補助が歳入では一千万円  
出てゐるわけなんですけれども、その根拠は二千万円の半  
分だけが果て負担をさしてゐるのだというふうな歳入  
ではなつてゐるんですけれども、歳入とこの間にありますと  
同じ世代化の事業として一千万円計上されてゐる。そう  
いうようなことを考えますと、予算の算出の面では  
二千万が一が果負担であるというふうにあるわけです。  
から、従つて 歳入にきたら、市でも一千万を合算し  
二千万の支出にならなければならぬ、ではないか。  
三というふうに考えるんですが、そういう点はいんげん  
ことだろうか。ということですが、それともう一つ、同じよう

廿二となんですけれども、総務費の果委託金のうち果の収入証紙売りさばき手数料四万五千円というやがありますか。これは総務費の支出の方にきますかと。どこへどういそいそいったのかわかりません。或いはほかの費目のところの計上されているかもしれません。私が調べが足らぬことになるかもしれませんが。どうも、そういふ点について予算編成の技術上の問題かもしれませんが、お伺いしたいなと思います。大きく分けて二つお願ひいたします。

・補正事務所長（池田亮山君）お答え申し上げます。

七四ページの負担金補助及び交付金の中に前年ありました原爆被災者同盟補助金とその他三団体への補助金、いずれも二万乃至一万円程度が額補助

金でございまして、これをそれぞれ団体に対して、直接補助という形を廃して、それぞれに十九節の負担金補助及び交付金、社会福祉協議会の中に含めまして、この団体に補助して差上げたいということとで組むかえをして、わけでございします。それから第三点目、民生費関係の補助金とそれから児童措置費の関係でございします。措置費の支出の中からいわゆる歳入の通称保育料といふものがあるわけと、保育料の中に私立の保育所の分と公立の保育所の分があるわけと、ございします。

私立の保育所分に関するものが、いわゆる支出の児童措置費として出ておるわけと、ございします。

支出は児童措置費千七百十七万二千円というものが

私五に對する児童措置費でございます。そう  
中で歳入におきますところ保育料が四百九十三万  
一千円に相当するものが差引かれましたもう十分  
八が国庫負担金である。十分の一が県負担金  
である。そうしてあと十分の一が純然たる市負担  
金。こういうふうな計算になります。そう金額  
を除きました保育料の分がその下の児童福祉施設  
費の公立四園の運営費としてこれは措置費とし  
てなくて市の四園の施設費として支出されているわ  
けでございます。収入の場合になりますと、こ  
うな計算で収入されておる。こういう仕組にな  
ります。

・農林水産課長（伊藤幸太郎君）水産の関係につき  
まして申し上げます。お説のとおり。収入一千万、支出

一千万でございますが、これは予算説明の際にもちよ  
つと申し上げたかと思ひますけれども、二千万の事業費と  
いうのは予算編成時期におきましては、ごく大づかみ  
の概算見込みでございます。従いまして事業確定  
後におきましては、ある程度、増額が当然見込ま  
れてゐるわけでございます。であります。事業費  
の最終的な決定を見ました後におきまして、市費を  
もちまして、適当な額を助成を――それに積み上げ  
まして予算更正をいたしたいという考え方でツ  
バーの予算を一応組んだわけでございます。

財政課長（長谷川広治君） 四万なにかしから徴収交付  
金に對しましては、徴税費と総務費に分かれて  
財源が使用してあるというふうに考えておりますが  
のちほど改めて計算の上、はつきりとお答え申し

上げたいと思います。

一九番（島野茂樹郎君）第一点、原爆被災者、補助金のことについて、了解をいたしました。それから民生費並びに農林水産業費、予算の編成方法、大体わかりましたので、私の質問を終ります。

五番（藤田益治君）五八ページの十九節、負担金の中に東京湾総合開発協議会、負担金が出ておりますが、私不勉強でその内容がわかりません。その内容を御説明願いたいと思います。それから九大ページの十三節の委託料、漁港整備、漁業経営等調査研究委託料、同じく内容の説明を願いたいと思います。なお十九節の負担金の中、漁港整備、促進補助金、内容について御説明願いた



いと思っています。

企画課長(谷見茂生君)東京湾総合開発協議会負担  
金う件でございますか。これは千葉、東京都、神奈  
川、いわゆる東京湾をかこむ都県、それから都県  
の中、関係市町村。こういった方々をもつて構成し  
ております協議会でございます。千葉県知事  
が現在、その会長をしております。これは東京湾の  
架橋の問題ばかりでなく、将来の東京湾、いろ  
いろな今後振興策として考えらる総合的な  
計画をこの協議会でもって検討しながら国々  
カで、それもらうものは、この協議会が陳情とか、請  
願という形で、もつて国に要望。そうして共同で  
も、やるべき仕事はおうおう、この協議体の中で相  
談しながらやう、と、ということでございます。この東

東京湾沿岸市町村という事で市でも加入してあるわけですが、いまいちが、なにより仕事、それも、政治的な問題とか、或いは大きな問題でございす。東京湾の開発、さういふことによつて、受益地帯であるというところから、これらの振興については、重大な関心を持つていかなければならぬというところ。館山市としても、東京湾開発によりまして、その推進の仕方によつては、市の将来計画というものも、相当見つめながら、やういかなければならぬ。入つておるわけでもございす。か、今まで、いろいろ、総会等が行なわれておりますが、各代表者、會議でございす。市長さん、或いは議長さん等、出席されておるようでもございす。

その経過等につきましても、私、たゞ事務局の立場として、おてゐりませんけれども、聞くところによりますと、今後

の進むべき方向等がその中で協議されていく形で非常に参考になるということはお伺いしますが、受益地帯であるということと大きな立場で東京湾の開発を見つめて、市の行政に対処していくという考え方で加入しておるわけでございます。

・農林水産課長（伊藤幸太郎君）水産関係について申し上げます。

委託料が十万円でございますが、これは、創年実施して参つてゐるわけでございまして、各市内の漁業組合長さんを中心にいたしまして、先進地の調査、たとえば養殖事業の調査や委託或いはまた右岸漁業関係の調査委託、港湾施設の調査や委託等、いろいろございまして、打ち切り旅費や意味におきまして、この委託料を十万円組みまして、その範囲内におさま

して各組合長さん方を中心にいわゆる先進地、  
調査委託をお願いしてあるわけでございます。  
それから第二点目、漁港整備ということでございます。  
ますか。これは従前御承知かと思ひますけれども  
も漁港整備期成同盟会というものがござい  
各地域ごとにあるわけでございます。その期成同  
盟会が運営の一端をいたしまして、二十万の範  
国内で助成を申し上げたいというふうなことで、これも  
従前実施しておるものがございます。

五番（藤田益治君）大体三点についてわかったようだが  
いたしますが、この東京港湾総合開発協議会について  
も当然所の時から剣崎を見通した線が東京港  
海面にならうかと考えられます。なお先般から、館  
山港湾総合開発ということが再三通告質問あ

リにもおたと私は考えておりますが、三三において農林水産課と一館山湾に共同漁業権が数多くあろうかと思ひますが、たまたま湊リから館山湾に至る芝第ニ二三号または湊リから北部芝第ニ二三号という共同漁業権があります。二から開発を行なつていく上に当然二から諸問題がからんでくるのではないかとお思います。二の対策について農林水産課と一どのように考えておるか、御説明を願ひたいと思ひます。

農林水産課長(伊藤幸太郎君)お答え申し上げます。今までいろいろ説明もございまして東京湾の総合開発或いは埋め立て等の問題に則連いたしまして御指摘通り第一二三号並びに三三号の漁業権が設定されておるわけでございます。二



ようでございます。これが現状でございます。

五番(藤田益治君)よくわかりました。二つ実施に当る場合には極力そういう点に留意なさいまして手落ちのないようにやさいただきたいことを要望いたしまして終了します。

一六番(五十嵐昇君)市が堅実な歩み、堅実な発展とどうもうはそう市が行なおうとする事業が財政といかなる関連に立つか、具体的であり、計画的であり、有機的であるというふうな面に主脚した市政の執行でなければならぬ。三ついうことを前提といたしまして、以下御質問を申し上げたい。こう存する次第であります。

第一点といたしまして教育費に係った問題でありますけれども、市町村、小中、二、三校、入学

児童数とその児童を収容する教室の需給関係  
が円滑に行なわれているかどうか、これをまず第一に  
お伺いしたいと思うのであります。

第二点といたしましては市内にありますところの幼小  
中一校舎の新築なり増築、改築などの現状  
とその裏づけをなす財政の支出総額は一体ど  
う位であるか、それからなお第三点といたしまして  
これを措置する市の財政から勘案いたしまして  
何年計画がもととも妥当であるか、そういつた五カ  
年なり八カ年なり計画がここに組まれておるか  
どうか、それからなお一中の二二二に非常段階  
の新設等といたしまして八十八万六千円が組まれて  
おりますけれども、このほか二とに一中、二中等の本  
館施設はあはれは兵舎の払い下げであります。



非常に古く相当の腐朽度になつてはいないか。従つて  
各教室等におけるところの通風・採光・衛生いふんか  
面で何かそこに市当局として考えていかなければなら  
ない。改修していかなければならぬ。三つうふうな点。  
たとえば教室に入りましても非常に寒さがなくて  
そうしてこの周囲等も非常に古くて私は何か標準  
準の光度に不適當な教室ではなからうか。レッスス  
の問題等も私はありは。ないか。三つうふうに  
考えらるゝであります。

大体これを二中や校舎に見ますと下の方は幾分寒  
等が改修さふまゝで明かるくはなつておりますがまだ  
大部分の教室が暗くて。三つうて通風も悪い。採  
採光も悪い。三つう光度が標準光度になつてゐる  
わけはないか。また三つ施設を改修するに當つて

市は一体どんなふうな財政的な面で考えてお  
 るのか。ことに押本教育長は前任校の中学であり  
 まして私は二中に例を取ることは具体的にわかるん  
 ではなかろうか。ということでは御質問申し上げるわけで  
 ございます。けれども一体これはPTA会費の  
 一部と或いは市の一部という合休にまづ改修さ  
 れていくものがあるのか。或いは市だけの費用で改修  
 されるか。もしも市がそういうことで支出してお  
 るならば、一体その支出額はどの位であつて何年位  
 かかつて旧校舎の窓の拡張と申しますか。通風  
 採光という面が改修と何年かかつてゐるのかと  
 いうような点も含めて御質問申し上げたいと思  
 います。

北条小学校の新築校舎の設計に當りまして

市は、その債務負担行為をいたし、まゝて八百七十五万円を計上しておりますけれども、一体ボーリングにどう位かかって、その設計にどう位かかる。これを民間の業者に委託するのや、或いは市或は、県等や、どうしよう土木関係の課にお願いして、これを実施しようとするや、あるか。

それから、さうき押本さんで、いたか、二万坪、或いは二千五十坪位で設計するや、だというお話か、でございまして、三万坪、広大な新校舎を作った場合に、一体、その総額は、どう位になるや。我々、さうといたし、まゝても、坪十万と見積り、まゝても、二億位の額は、当然、計上しなければならぬ。なお、新築校舎の敷地は、何の財政の裏づけをもち、て購入しようとするや。或いは、移転費等も、多分にかかると思うや、でありますか。さういった財政的な裏づけも

一体どうなすおるのか。或いは何年度において完  
 成しようとするのか。三ついった面につきまして大体  
 のところを御説明いたしたいと思つたのであります。  
 なお本市の幼小中三校舎が非常に広く存在  
 しておるふりありますけれども三つらう学校敷地  
 は一体どうなつておるのだ。たとえて申上げますと  
 国有地が幾ら。或いは私有地の關係はどうなつて  
 おるか。或いは市が所有地が幾らあるか。三ついつた  
 国有地、県有地、或いは私有地をどんな方針で今  
 後市の所有に吸収していく。買収してつとという面で  
 どういう計画があるのか。三ついう点をお伺いしたいと  
 思つてあります。だんだん地価が上つてまいらう。  
 国有地等も払い下げにおきましても、その時点、時  
 点におきまして相当の基準額というものが設

定されて、その設定された上において売却されるということと  
になりますと、市の財政上大きな負担を持たせる。  
三つ、点等も考えられます。いづれにいたしましても  
市の教育行政というものは一日もおろそかにできない  
ことでありまして、そういう面で教育長はこういう  
見解のもとにこれを実施しようとしてゐるのか、大きな  
財政的な問題でございますので、大略で結構でござ  
いますので、御説明いたいただきたい。以上であります。  
議長（吉田勇治郎君）暫時休憩いたします。

午後四時五十八分

休憩

午後五時二十分

再開

議長（吉田勇治郎君）休憩前に引き続き会議を開く。

ます。

先ほど答弁保留になつておりまして二番議員さん  
の資料ができまして答弁を求めます。

農林水産課長（伊藤幸太郎君）大へん遅くつりまして  
申しわけでございますが資料ができましてたゞお  
手元にお配りしてございます。それによりまして御  
説明申し上げようと思ひます。

四二年度までの右岸漁業の築磯事業の一覽  
表を添付してございます。御参考に願ひたい  
と思ひますが、なおそれに加えます。これは船形地  
区におきますところのラツボ根並型 魚礁関係の  
断面図を御参考までにコピーいたしまして一諸  
君にとりてございまして、御参照いただきたいと思  
ひます。

ニような方式にまゐりて、実施されてゐるわけであ  
ございます。御参考までにござんただきたいと思ひ  
ます。

四十二年度までが分につきまゐりては先ほど申し上げま  
したとおり、一覽表によつて御了解いただきたいと  
思います。

四十三年度の分でございしますが、まず、布良の関  
係の投石事業でございしますが、これは先ほど勝山  
産といふことを申し上げましたが、熊南町の硬質砂岩  
のものを大体一個二〇〇キロから三〇〇キロのものをも約  
三〇〇メートル程度を投入いたしまして、築堤するわけで  
ございまして、伊勢えび、あゆ、ぶ、さぶえ、等を増殖す  
る目的でございまして、約水保メートルから一メートル  
程度、うしろに投入する計画でございします。その金が

五十万という概算見積りでございます。

それから並型魚礁の設置でございますが、これは船形でございまして、ラッホ根の設置事業でございます。これはメートル立方メートルを二段積み、つまり約百二十個程度を水深約三メートル前後、海に設置するということなのでございます。イサギ、タイ

等々、生殖場所を設置して、繁殖保護をはかろうというところでございます。概算見積り額が八十

九万六千円と相なりおるわけでございます。なお、こ

事業につきましても、果並に国、水産試験所等

の御指導をいただきながら、なお、かつ漁協の要望

等十分取り入れまして相談いたしまして、この事業

実施をやって参るわけでございます。この効果

その他につきましても、やはり毎年継続事業として



をしておりますようでございます。相当の効果が上  
つてゐるということをおもひは信じてゐるわけではござい  
ます。なお試験所、或いは水産事務所等で  
この状況等も調査していただいてゐるわけではござい  
ます。以上うなづか第でございます。御了解  
いただきたいと思つてゐるわけではございます。

議長（吉田勇治郎君）この際おはかりいたします。  
本日の会議時間は議事の都合によりあらハドめ  
二小を延長いたしたいと思います。  
二小に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（吉田勇治郎君）異議なしと認めます。よつて  
会議時間は延長されました。

二番（中村省吾君）資料の大体の様子はおわかつた

わけでございますけれども、ニ資料でなお、私要望いたしまして、た点が抜けておりますけれども、大体了といたします。

なお、今後私考えますところ、ニ資料は従来、三というものを三というふうにして、実施したということでございます。ところが、ニう実施さしたものを、見ましても、ウツボ根並型魚礁の配置図が、出ております。が、Aフロツク、魚礁でA、A'、ニう断面図もありまして、けれども、ニう二段積み方式を取った魚礁の状態、それからB、二段積みと一段積みとの混成さしたもので、断面図がございまして、けれども、ニういったものを、合わして、魚礁の生息状態、ニういうものを、一応調査する必要があるのではなからうか。なおかつ、回礁状態を調べてもらいたいと

いうことを言いまーたが、すぐでなくても結構でござい  
ますが、館山湾内の魚類というものが一応周期的に  
青鯛或いはイナダ等が何月頃、どうような方向にと  
ころを主体にして遊泳してくるかというデーターがあるは  
ずなんです。このことを一つ考えてもらいたい。そういうた  
ようなことから本年年度実施いたします投石或いは  
魚礁作成にいたしまーても、そういう点を検討しま  
まーた上で計画しないといふ事業が無意味に終  
る面があるのかと考えるわけであります。

さうした観点からさうした資料がさういふふうになら  
ないというお考えであるかというところをお聞きしたわけ  
であります。二つらの事業を遂行する上におき  
まーては、少なくも動土におきまーては投石或いは築  
磯・魚礁を作らねば、その結果がどうなつておるか。

こういうことを十分把握して今後計画を——いた  
だきたい。それからもう一点、これに関連した——ま  
本市におきまして金型魚礁だけでございますけれども  
大型魚礁に対する対策はどうしておられるか。

聞くところによると三十七年度に一度大型魚礁を——  
たうどうかというところで水産事務所等もいろいろ  
積極的に働きかけを——たと聞いております。

——か遺憾ながら、これは実現せずに富浦に持っ  
ていかれた。御承知のように大型魚礁になりますと

全部を果費によらず実施するというところでございま  
す。で、でき得るならば大型魚礁の設置という

ことも考えた方が館山市にとってはプラスになるの  
ではまいか。それから三十七年度にそういう事業が

働きかけがあつても、市の方々受け入れ態勢がござ

ないために富浦に持つていかけてしまった。三つ、現状にあるうでございますから。今後は大型魚礁う考えをとり入れていただかない。ただ、この際考えなければなりません。大型魚礁ともなると非常に場所が制限されるわけであり、おそろくウツボ根、二、三、近辺、海面に大型魚礁というものは、ちょっと問題がふてくるのではなからうかと思われます。従つて旧館山付並ということではあります。館山ともなるといろいろ問題があることもわかるわけでもございますが、二、三の巻き網業者等、折衝も十分なまゝで今後、魚業形態というものは、かくあらねばならない、だといふ見地から御配慮願つてやつていただかないと思ひます。以上でございます。

。議長（吉田勇次郎君）一六番議員に対する答弁を

求めます。

○学校教育課長（山根春夫君）最初、御質問ですが、昭和四十三年度入園入學児童、児童生徒数と教室の充足状況について御説明申し上げます。

幼稚園の方は二年保育に参ります。現在まで、状況では千六十二名の入園希望者が出ております。昨年より九十九名増でございまして、

そのわり、小学校では現時点では七百九十七名、来年度一年生になる予定で、

小学校全体で五千三百十五名、今年より六十七名の減となります。

それから中学校は新しい一年生は九百八十七名、全員で三千二百九十九名、昭和四十二年度より六十六名の減というところでございます。

教室の方ですが、幼稚園の方は船形幼稚園、那古幼稚園、  
それから西岬幼稚園は、それぞれ二年保育になりまして、  
いども新しく教室を必要とするのは、那古幼稚園だけ  
でございますが、那古幼稚園はかつては三学級で充て  
たりまして、教室もございまして、それから船形幼  
稚園、西岬幼稚園は現在の学級数で二年保育  
に切りかえるということでございます。これも教室はござ  
います。

ただ、北条幼稚園の場合には十学級ですが、北条が  
非常に多いために平均一学級三十八名ということに  
なりました。これは教室によつては非常に狭い教室も  
ありますので、かなり窮屈になつて参ります。

一から二は、ちがて小学校とともに移築になる  
と思ひますので、当分そういうことが続くてはない

かと思われまゝ。館山幼稚園は、年々、年長と  
に百四十二名、希望者でございます。うで、いずれ  
を三学級に、いずれを四学級にするかは問題  
でございます。

現在、二学級です。三は、入学級に、大場合には、  
どうしても、教員室をつぶして、教室に、いなければな  
らない。教員室は、狭いので、これは、拡張を早急にや  
らなければならぬというふうな委員会では、考えてお  
ります。

あと、神戸方面は、現状維持で、かわり、ございせんが、  
富崎が、年々、三十名、年長が、四十二、三名で、ございま  
す。うで、ともに、一学級という、ことでは、願ひ、て、もう、一系  
を、館山幼稚園、う、方、に、という、こと、になると、思ひ、ます。

幼稚園は、館山と、北条が、教室が、不足、になつて、おる、う、が、



実態でございます。

小学校は熊山小学校に三学級増あとは神戸・富  
崎。一学級減というところで、もって全体では一学級増  
でございますが、ほとんど、その他、学校では現状です  
ので、問題はございません。熊山小学校は幼稚園  
もふえる。小学校もふえるというので、小学校の方  
は特別教室が相当数不足する。また、北条小学  
校も、現在特別教室にかなり不自由しておるよう  
でございますが、普通教室には異常ございません  
せん。それからあと神戸・富崎とか、それから  
北条、熊山も来年度は一学級位減になるかも  
しれません。そういう学級減が続きますので、  
だんだん教室は余り参ります。

中学校の方は全般的に特別教室が足りません

けれども、明年度以降、学級減が行なわれるわけです。一中、二中、赤南中、四中とそれぞれ、明年学級減が一学級乃至二学級、予想されております。そこで、来年度には、房南とか、それから二中、西岬、四中あたりが、学級減になります。教室が余ってしまいます。これを特別教室に転用することは可能でございます。ただ、特殊な雷崎地区には、房南中学校、特殊学級を設けなければならないという、ことも予想されております。大体、本年教室が予定でいっぱいでございます。現況は、そういうふうでございます。教育長（押本禧逸君）続いてお答え申し上げたいと思っております。

校舎の新築の問題でございますが、全面的に改

築いますことにつきましては、昨日の通告質問で房  
南、北条小学校幼稚園、三中という大改築をい  
けいばいけいというところは申上げたいやうでござい  
ます。当面の小規模改築につきましては、毎年教育  
委員会と建築課の方にお願いたしまして、各  
学校実地に調査いたしまして、その年度年度  
に緊急度に応じてまして、工事請負費を予算化  
しまして、みなさんに御提示し、緊急度合に従  
って特に支障をきたすところから、工事を施行して  
いただくございます。

次に一、二中の校舎の問題でございしますけれども  
も、御承知のように、兵舎を移転した建築でござ  
いまして、老朽校舎というところで、ございませ  
んけれども、いわゆる教室としては、不適格な校



在市有地といひまして、市が持てゐる土地が全部で五三六四七平方メートル、これは全体う七二・八％、それから国有地が九三五七平方メートル、これは一二・七％に当ります。

それから民有地ですが、これは一〇、七二四平方メートル、一四・五％に当ります。

総計で七三、七二九平方メートルでございます。特に国有地で西岬の中学校の敷地、四千七百六十五坪というのが西岬の關係でございます。

それから私有地で大きなものはやはり二串關係の七千三百六十九坪五十一というものでございます。

国有地、私有地關係のもつては、やはり長期計画を立てて今後市のものにしていくということも考えなければいけないと思つておりますが、現在ま

だ。細部の計画は立てております。

一六番(五十嵐昇君)一問、功小中、校舎の改築問題でございます。一ニ一ページ一ニニページ一ニ四ページ等に小中の工事請負費が計上されております。

たとえば小中学校におきましては、篠山小中学校、北条小学校等が児童の増加によりまして教室が不足する。従つて特別教室をもつてニにに充当するというふうなことがいろいろと思ひますけれども、特別教室には特別教室としての使命があるのかと存じます。従ひまして、ニを他に使用するということは教育の上で考えなければならぬ。特に市当局、教育長におきましては、そういう十二分な配慮が必要ではなからうか。こゝろ存ずる次第でございます。

いずれにいた—ま—でもほかの小・中におきま—ては減  
少の傾向にあるという二とで—一応現状維持という二とで  
ございますけれども二とに館山小学校においては三  
学級四教室が不足を—ておる。二ういう状況であり  
まして二は当然四十三年度において何名位の子生徒  
が入学—てくるかという二とは当然前も—てわかる  
ことでござい—てできるならばそれに対する対策が  
ほ—かった。二う考える次第でございます。

二お幼稚園等におきま—ても一教室不足すると  
いう二とで教員室を二に充てるというふうなお話  
も承りま—たけれども二はも職員室を教室に  
充当する二とが教育上妥当であるかどうか。二はも  
問題があるうかと存するのでございます。  
増収策等におきますところの二の費目が—二—

ージです。かーニニペーニーニ四ペーニ等によつてお  
 ません。で、私、こゝに勘案いたしまして、おかしいでは  
 ないかという事で御質問申し上げたわけでございます。  
 なお、一中、ニ中等の兵舎転換という事で、あそこ  
 に古い建物が建てられておりますけれども、今申し  
 上げましたような照明度において、大きな問題として  
 指摘をされてゐる。一か一かたう、こゝに政策と申し  
 ます。かゝるいは、全部、市においてやられてゐる。というこ  
 とで、一体、その費用はどうか、こゝに充当してゐるか、お庫  
 かせいただきたいと存じます。

打お、教室に関係いたしましては、本間市政下におき  
 まして、年々、充実しております。市民全般といたし  
 まして、教育に熱心な市長であるという事で、感謝  
 申上げておる次第でございます。その意を体し



まゝて教育長におきまゝては十二分な親心をもちまゝ  
て御配慮をいただかなければならない。 三つ考えるわ  
けでございませう。

なお敷地関係等におきまゝて国有地或いは市有地  
民有地という点でいろいろ御説がありまゝたけいど  
も国有地等は早く払い下げいたしまゝて市有  
ものたゞておけばたとえば一中の問題にいたしま  
てもあそこは国有地がどう位あるかしれません。あ  
ると仮定いたしまゝてあが市有地になつておけば  
一中が偏在してゐる。北条より片寄つておそ  
那古とか船形地区の通学上非常に片寄つてゐる  
ものもこれを他に移築新築するといふような場  
合に払い下げになつておけばそれを処分しても立派な  
学校がさういったことでできはらないか。 三ついうに

とを考えまして御質問を申し上げたわけでございます。  
います。大体今の御説明で了承いたしました。  
で、私の質問は以上をもちまゐりました。了解ということ  
にいたします。どうもありがとうございました。

ニ三番(山田教字君)ニ三お伺いいたしたいと思っております。  
七ハベージスポーツグループは幾つ位あるか。会員は何  
名位か。それから一〇〇ページ・キャンプ場(賃金) キャン  
プ場は禁止するということですが、さつき答弁がはつき  
りいたしません。もう一回お聞きいたします。

それから二九ページと二二ページです。わい小学校  
費と中学校費の負担金の中に学校保健会  
の補助金が入っているんですが、これはどういふこと  
になっているんですか。二つもお聞かせ願いたいと思  
います。

それと二四ページ工事費の中に書庫中学校の校長の室が作らるるわけですが、十何年中学校ができてからなかったんですが、ここにはじめて中学校の校長さんや室を作らるるんですから結構ですが、これに関連して校長室を作るからには校長さんを二二に入れることになりそうです。そうすると合併は当分できないということになるんですか。

この四点をまずお聞きたいと思ひます。

。福祉事務所長（池田亮山君）第一点、スポーツグループの育成補助のことだと思ひますが、現在十七、それから二の中、二二で予算化して計画してあります。もうは雷崎剣道と那古う剣道クラブ、船形の早起きクラブでございます。これに対する補助でございますが、結成のころから十数万ずつ育成

とてある。たとえば剣道や用具購入等でご  
づいます。

商工観光課長(山田俊康君) キャンプ対策資金であります  
けれども、本年度キャンプ場を廃止するということ  
で、従前キャンプ場が館山にあるからという様な宣  
伝をしてきた事實はないわけでありまして、けれども  
にもかかわらず、キャンパーは毎年ふえるという状況  
下にあります。

館山市のキャンプ場を廃止するに当りまして、参り  
ますキャンパーに對して、館山市にはキャンプ場がな  
いのだという様な指導等を行なうべきだ。特に夜  
間におきまして到着するキャンパー等に対して指導  
を行なうべく、そのため千三百円の日当で五人ほど  
雇って、それに対して参りたい。そういうことで本

年はキャンプ廃止し第一年度でありますので本年  
徹底的にキャンプ対策としてまたキャンパーたちに  
隣、富浦とか白浜とかについていただく、或いは  
とにかく館山市内ではだめだということを知っていた  
いただくために徹底したPR等を行ないたいということ  
でこゝをお願ひした次第であります。

。教育委員会庶務課長(千場伊右エ門君) 学校保健会  
の負担金が小学校と中学校に分かれておるうはど  
ういうわけかという点でございますが、こゝは最初は  
一本で事務局費の中からお出しておったのでござい  
ますが、予算を目的別に分けるということで  
小学校と中学校に分けたわけでございます。児童  
生徒数によつて案分けてこゝに上げたわけござ  
います。

教育長（押本禧逸君）お答え申し上げます。

豊房中学校、校長室の問題でございますが、  
豊房中学校は校長室のない学校の一つでございます。  
して多年の要望でございます。

打お校長さんが現在いらつゝる職員室も狭く、  
いろ来客やその他用事のために困っております。  
建設する。こういうことにお願ひするわけでございます。  
は統合という問題ともからみ合せてくるわけで  
ございますけれども、統合は形式統合というふうな  
ことで学校の建築が完成するまではやはり暫  
らくは、その学校で教育をしなければならぬとい  
う立場もあります。で、数年かかるわけでござ  
いますので、今回お願ひするわけでございます。

一三番（山田教字君）一点は了承いたしました。

二点はただいまの説明によりますと、本年度は館山市にキャンプを―てはいけないうた。もー今うまうなお話ですとキャンプ―がたくさんさてどう―てもあるんだと必らずくるんではないかと思ひます。それとはかり地域に持つて―だけの御自信がございます。かどうか。その点非常に不安があるんですが、トラブルが起きらぬいように御注意をいただきたいと思ひます。

それから、今教育長さん御答弁う校長室のことなんです。私は校長室がなかつた自体が不自然だと思ひております。で、別製作る。そのものに問題はないか。たんですが、それに關連―ましていはゆる合併が濃いやかということを聞いたわけ。で合併がおとと―あたり、又教員委員会で合併の視察に

いつたわけでございますが、そういうことから考えま  
て、当然合併に対する施策というものが推進さ  
れていなくてはならない。三ついうふうに考えており  
ます。が、さういふえなかつたらはつきり合併のその後  
の御様子と聞かしていただきたい。具体的なもの  
がございまいたら聞かしていただきたい。

教育長（押本禧逸君）統合計画でございますが、今はつ  
まり、予算化という問題もからむわけでございます  
ので、教育委員会として考えていることは、北条小学  
校幼稚園の建築の次の段階でぜひ三軒建築こ  
ういうことを考えるわけでございまして、あと予算  
との関係でございます。三、そういう予定で進も  
うと思っております。

三番（山田敬宇君）どうも私にははつきりないんですが



大体、房南中学がはじめて三校説から四校説に  
なったわけですが、三校説の時は房南中学が入り  
なかったんですが、あが合併の一環としておこりに  
なっておるのか、いずれにしても四校説に向かつて  
現在計画をまわっているものと私は考えておるんです  
が、一応北条小学校が終ってから、その後において  
中学校の合併を実施しなければならぬという  
ことなんです、それで、具体的に二年もたつて  
いるんです、ある程度具体的の方策というものが  
おぼつかりていなければならぬと思いますが、その  
点、具体的にけつきりできねばおつて、ただ  
きたいと思います。

もう一つ聞きたいことは、私はどうしても合併と  
いうものは世論、指示がなければ合併はできな

いと思います。そういう意味において二中の場合  
北条館が二つに分かれるということが果たして事  
実上できるのかどうか。そういうことを世論的な  
御調査なさってあるのか。合わせてお聞きしたい  
。教育長（押本禮逸君）はトめり何年にといいこと  
でございしますが、教育委員会としては先ほども  
申し上げましたように北条小学校の年度が予算  
的には何年計画であるとかいうことがよくわから  
ない現在でございしますが、その次の段階だけで  
申し上げるゝかないんではないかと思うんです。  
それ加う二中を二つに分けるというふうなことは  
確かに大変な問題を含んでいることはあるわけ  
でございしますけれども、本市の中学校というのが  
現在でも三十九学区という二中と三学区という神

余と云う、いうやうな格差が非常にあるわけでございます。  
して大体、適正規模の学校というものが千人程度と  
いうところが又都道府県でももっとも運賃或いは予  
算的にいろいろ喜ぶ味で効率的な教育運営が  
できる。云う云うことでございまして、生徒数による  
格差ということから考え合わせましても、二つに書く  
ことがよいというところで、~~総合~~総合審議委員会等、御答  
申もいただきつつ、そういう結論を出してゐるわけで  
ございますが、まだ具体的に各地区で世論を直接  
こちらから聞いてゐるといふことはいたしておりません  
はわかり、そして聞くこともまだ、そう、私の方でそ  
いへます、い、云う云うやうな声が強くはわかえつて  
もありません。以上でございます。

一三番(山田敬宇君) 北条小学校が何年先に大体

完結してその後、中学校を合併工作を持て  
いくかという考えがある程度、線として出てくなくては  
いけないのではないかと、気持ちがあるんですが、  
いわゆる合併問題は二年も前から始まっております。  
北条小学校が大体何年位で終って合併をどういう  
方向に持っていくかというところは、当然、あつて、かる  
べきではないかと思うんです。先ほど教育長さんが  
ちよつと、おっしゃいます、形だけの合併、形能へ合併  
を、する、というお話でございまして、これに対して  
今まで、そういう話、合った事実がございまして、か  
どうか、それを具体的に、どこ、学校に、どう、いうふう  
に、しよう、という、ことが、ござい、ます、か、どうか。

教育長（押本禧逸君）形だけというのは、形式統合と  
いうことでございまして、先日申し上げました、

に西岬・二中・豊房・神余四つの中學校を二つに  
するわけでございます。その場合に校舍を建てて  
本當に二つに分けるといふのは、一年乃至は二年  
かかるのではないかと、いふわけでございますが、形  
式的な統合という形を取らないと、国からの補助金  
等もこないわけでございます。実質的には、本當  
に二つの學校になるといふ間に、建築期間だけの  
時間、かさらにずいといふことであリまして、  
そういうことでございます。

二三番(山田教字君)形式合併のお話、合意をいたし  
とがございますか、どうかという二と。

教育長(押本穂逸君)まだ、そこまでしておりません。  
議長(吉田勇治郎君)暫時休憩いたします。

午後六時三十分 休憩

午後六時三十分 再開

議長(吉田勇治郎君)休憩前に引き続き会議を開きます。

二十六番(秋山六三郎君)七五ページ負担金補助及び交付金、社会福祉関係でございます。

館山市、社会福祉協議会に六十一万円の補助金が計上されておりますが、市の社会福祉事業というものは非常に大切なものでありまして、年々二割に補助していただく必要がありますが、私はいささかも二割に反対する意思はございません。むしろ、これは助成していかねばならない。ところが、見地に立ってあるものでございますが、ただ、私、たまたま二、三、社会

福祉協議会の実態というものを見ますと、今ケーク市から補助金をもらうのだから、市の方でも福祉事務所です。十分な監督指導をする必要があり、これはないかというのを感じておるのではないかと申します。これは私がかつて職責上、理事として二、三年前に出席し、まゝなときに二、三年前のこととてござい、ます。あるときに決算書が出まゝなところ、その決算書の歳入でそれが会費であります。会費が予算額と決算額が一銭も違ふない。差一引きゼロというのになつております。

私は非常に疑問を持った。というように、いわゆる予算額と決算額が歳入においてぶつたり一致する、というものはあり得ない。というふうに感じておったのであります。そこで私は、その席上で会費の来

納はないかという事をただいまのところ未納が  
ございます。二うう御答弁があつたをござい  
ます。私は未納があつて金費の予算額と決算  
額が同一になる。二うう理由は無い。かまうに私は  
申しました。だんだんただして参りましたところ。  
そこに未納額を上げることは体裁が悪いから。一  
申しますれば。かつてに予算額を変更したという  
ことであります。

予算の補正も無いでかつてに予算額を決算  
額に合わせてそこに持つてきた。そのときの実態  
でございまして。私は二うういうふうなやり方。少く  
とも。市から。年々補助を受けてやつておる。いわば  
市の外部団体一つでもある。二ううに考えては  
ろい。二ううな団体が二ううなやり方であつては



ならぬい。少なくとも市から補助金を出してゐるの  
だから、かも事務所は福祉事務所の中に置か  
れてゐる。外部から見ますると市役所の一部份で  
ある。こゝうな認識さえ受けるが、ごいませう。  
そゝうな意味において私は強く是正するように申  
し上げました。さらに当時福祉事務所長さん  
も、十ヶ指導監督をさるうにとくとお願い  
したようだけれでございませう。今日ではおそらく  
さういふことはないのであらうと思ひますけれども、そ  
後においてもやはり会費の未納というものがあ  
る。ところが会員の資格は何かと申しますと、各町内  
会とか区とかさういふものが単位になつて、会員の  
なりやりまするから、事務当局が完全に事務  
を執行すれば会費の未納は一銭もあるべきでは

ない。調定した額は必らず入るべきものである。

「こういうことが考えらるるわけですが、私はこの点について年々相当願う補助をして参ります。団体でございます。市や外部団体と見てもよろしい。こういう団体、二小に對するいはば監督指導的立場にある福祉事務所長さんのお考えを一点、今日、そういう事実が全く消滅しておるといふことであらば、私は本当に喜ばしいことだとかうに考えておるのであります。」

福祉事務所長さんより以下に對する見解をお聞きしたいと思ふ次第であります。

・福祉事務所長（池田亮山君）御指摘の社会福祉協議会でございますが、御承知のやうに本年度は法人化していくという段階になっております。

本年度、予算も法人化された上で、補助金と  
ことに改められているわけでございます。

過去におきまして、そのような状態がありま  
した。どうか、私、残念ながら聞いておりま  
せん。

はなはだ、不勉強でございますけれども、一  
応法人化さ  
れた以上、今後、運賃につまみしても、こ  
うなことは  
どうも考えられないことでもあるわけであ  
ります。また、た  
だいま、御指摘のような事態がござい  
ます。一応、場  
合は、遠慮なく私たちの方にも指導して  
参りたい。さ  
ういふことを  
参ります。

二六番（秋山六三郎君）私、た  
だいまの、福  
祉事務所  
長さん、御  
答弁はなる  
ほど、最近  
なられた  
はかり  
でござい  
ます。こ  
ういふこ  
とは、こ  
れほどな  
いと思  
います。が、  
その後、  
におきま  
して、私  
は、え、  
は、

この会にお席をとりて依然としてこれは法人化  
 されない前でございますけれども会費の未納も  
 あつたことを再度確認いたしました。一からわから  
 ずれをいまして申し上げてもどうかと思ひますので  
 少々点々いふくも市から補助金を受けている  
 いわゆる市民から見ますと市の外郭団体に見え  
 る。そういう団体に対する指導と申しますか、そ  
 うしたものを十分いただいて個人から金を取  
 るでございけません。団体から取る団体加入でござ  
 いますから会費の未納は絶対にしてない。またさ  
 もない。こういう御決意でお願いしたい。こういう  
 ことを要望いたしまして質問を終わります。

四番（渡山ヨネ子君）予算説明と市長施政方針  
 のときにお休んでおりましてで質問の要点

を欠くかもしれませんけれどもお尋ねいたします。  
市営プール事件で教育委員会や権威ある文教委員  
会でもって作るということを決定されたことは間接  
に承知しておりますけれども、ここに予算が計上  
されてこのプールの復旧だろうと思ひますけれどもプ  
ールを作ることはちっとも異議は持っておりません  
けれども、あの場所とか、今度復旧する七百五十  
万もの計上に対して疑義を持っております。  
希望を持っておりますので、その点でお聞きさ  
たい。プールについては損害はないと思ひます  
けれども、ここにありますが、もう施設が復旧だと思  
ひます。ところが結局はプールにつながる施設  
ですから、プールと関係して聞きたいのであります  
けれども、なぜそんなにプールにそれこそ硬直化とい

わゆるときに七百五十万出てプールがいたんでないや  
だから、二億だけの多額を金を出すのに何かた  
かったのか不思議なんです。会議をやったときに  
疑義がたぐ、スムーズにいったかどうかわかりません  
けれども、プールに付随して建物をいどめることはプ  
ールと関係がありますから次のことを質問し  
たいと思います。

ニ、プールを使用している団体はどういう団体があ  
るか。それから人数、ミニにあるだけの工事で幾  
けただけの復旧で済むのか。プール自体には損  
傷はないのか。プールの長さとか施設の仕方とかが  
水泳の規則があるんですが、この程度で競技に  
使用できるか。今後、団体やいろんなものがあり  
ますけれども、この程度で競技に使用できる施

設になつてゐるか。それからもう一つ。こういうものは金  
然起債とか補助の対象にならないか。そういうこと  
をお尋ねしたいと思います。

・社会教育課長(源間利一君) お答え申し上げます。  
不幸落雷雷害のために一月焼却いたしまして焼却  
に至りまして経緯につきましては金員協議会が席  
で御報告並びに御了解をいただき自後再健計  
画につきましては検討中なのでその時点において  
御協力も是非お願い申し上げます。こととて今日ま  
で参ったわけでござりますが、その過程におきまして  
今御質問いただきまして一点から申し上げますと  
そのシーズンによつていろいろ違います。延使用者  
で一万五千から二万というふうにおさえていただければ  
結構だと思います。それらに伴います使用料は



大体九十日間とおさえまして一日六千乃至七千円  
見当り使用料を上げていくという方が実情で  
ございます。その間におきまして小は校内の大  
会から関東ブロックの大会等を含めまして大  
会行事が大体大小合わせて十五回程度持た  
せておるといふ実情でございます。

その次に国体等々関係でございますが、これは  
全くないとは言いきれません。四十八年国体は開  
催種目として本市が予定されておりますのは、  
四十八年夏季大会におきましてヨット会場という  
ことで一応候補に上っております。

なお柔道、剣道、両種目が秋季大会で上る  
おるわけでございます。

従いましてあそこが国体や水球会場になるといふ



予定は現在ございません。

ただ、ここで問題になりますのは、ヤードプールの  
うふうなことで、完成當時に二十六年の完成で  
ございまして、正式に日本水産の認可証をいただ  
いておるわけでございまして、この公認プールの認可  
証は五年を一期に認可証を更新しなければ  
ならないという制度になっているわけでございまして、  
私市にお世話になった時点で認可証の経緯  
を確かめましたところ、切れていまして、それを更新  
すべく手続きを進めたところでございまして、その  
事務を担当された日本水産から委託された方  
が、その調査書をなくされたというふうな過程が  
ございまして、早速間には切れましたけれども、手数  
料等をお願いいたしまして公認の手続きを

踏んだわけでございますが、現在更新手続  
 きについては、そんな過程の中で、延期をい  
 るのが事実でございます。ただ問題は大会等  
 て、~~記念~~公認を要する競技が三三年来なかったと  
 いうずり申し上げれば、課長の考えは、甘いぞという  
 お叱りを受けらるわけでございますが、公認事務に  
 つきまわしては、四十三年度の中では、手数料は計上い  
 ないでおります。

四十三年度、或いは四十三年度を目途に、関東プロフ  
 の高校大会があるという中で、公認云々を確かめて  
 見たわけでございますが、記録会ではないので、その  
 必要はなからうという返事をいただいております。  
 そのような経緯になっております。

それから以上、申し上げました中で、確かに社会教育課

の予算全体から見ましてもさらに浄化装置をほど  
こー。今こゝにきて七百三十万の工事請負費と焼  
失に伴う備品整備費が三十五万円。一めて七百  
五十五万が再建のために計上されているわけでご  
います。が、こゝはあなだけアールを管理して参り  
ます。看守人の管理上の事務を取る室とかあり  
そこで各種大会を持ちます。事務打ち合わせ。  
記録整理。加えてあとで水泳教室等々を考えま  
す。一に実際にやう。それ相応の合宿所が必要である  
という観点から、こゝに計上いたしたものでございます。  
以上でございます。

起債補助につまみではフル。そのもう工事でご  
さいません。関係上、市費一般財源で計上いたして  
ございます。以上でございます。

一四番(渡山ヨネ子君)今うお答えて関東ブロッから使  
えろというところで、なバー、たけいとも、今うお  
答えの中で足りないことが一つあるんですけいとも  
使用人買はなういまいたけいとも団体、こいを使用  
にくる団体、いろいろありますけいともまた競技以  
外の人はいく位使用するか何日間位使用してゐる  
か、そいをお答えいただきたいと思ひます。

社会教育課長(原間利一君)あうブルを団体という形  
の中で市内で使用しておりますのは、小中、高校  
関係でございします。特に小学校にプール施設を  
持たない小中学校につきまゝては学校教育課  
で実施します。体育学習の中で、水泳指導  
というところで使用いただいております。なお、高等  
学校につきまゝては、自校のプールもそうでござい

ますが昨年の時点では合宿施設もあるというこ  
とで水泳クラブ関係者が学校、体育のクラブ活  
動という形の中で合宿練習で使用しております。  
二四番の遠山ヨネ子君（自衛隊は使っていないんですか。あ  
そこがプールは、

社会教育課長（源間利一君）落し込んで、どうも失礼  
します。自衛隊も隊内の水泳訓練をおそれて  
使用します。大会でも使っていたいております。  
確定な日数はわかりませんが、延日数にしますと  
期間中、シーズンも九十日とおさえておるわけで  
ございますが、九十日中、半分は使います。延いまい  
て、半分使わないのは、いわゆる市営プールの利  
に値する利用ということが問題でございます。  
コースの割り振りについて、事前にはコースの

割リ取りを条件といたしまして市民も充分に使えるところのことと、又劇と時間、割リ取りを条件といたしまして使用願つておるといふのが実情でございます。

二四番（遠山ヨネ子君）使用する人たち使用状況はよくわかりました。

私はもつと心配していたんですけれども、こゝだけのお金をかりて使用者が少なうならばこんな使用してゐると思わなかったから、公認プールでないと聞いているから、市民に楽しめる意味で市民センターの方にプールを作つていただいた方が使えるという希望があつたものですから、希望を兼ねて質問いたしまして、たけなもよくわかりました。

続いてもう一点お願いいたします。

市長さんの施政演説に「商工業経営者にとって」以下五行の「問題」解消に努めて参りたい考えでおります。それから次に「労働対策」につきましても「文化福利厚生施設補助」六十万円のほか「以下」二百万円措置いたしまして」というところがございまして、市長さんのお気持としては両方へ十分市民の人たちに対して何かをしない。そういうお気持はあつて、そういうけれども、はっきりとあつておるものは「労働対策」の方で大体地区別に対する補助金ではないかと思つて、予算説明を聞かれないもので、すから間違つていたらそれを教えていただきたいということ。それから今年度は「勤労者福祉協議会補助金」二十万円を計上した。去年を見ましても、同じところにく補助金であ



つたならば、実際においては十万円、増ですけれども、  
 も、同じものにいくんですか。それかうもう一つ、厚  
 生対策委託融資は従前通り二百万円設  
 買置いた。まーたとあります。これはどういう  
 ふうに使われているか。どういうところにいってどうい  
 うふうに使われているか。お聞きしたい。これは、  
 最初に申し上げましたように、最初の傾向として  
 というところと関連して私は市民として考えて質  
 問いたします。

十町番（遠山ヨネ子）

市長（本間 謙君）遠山議員に對し、まーたお答えいた  
 ますが、十万円は地区労働関係、従来二、三間、  
 十数万出ておると思います。それを十万円減らし  
 まーた、十数万、それかう三十万円の方は、それ



労働者の福祉増進のためにいろいろの事業を行  
なうということでございまして、あらは、君塚さ  
んが会長になつております。それは申し出通りニ  
十万余一まゝて、予算の関係もありますから、  
一方の方は十万円を減らした。三万ということで結局  
勤労者のことであります。から合計においては十万  
円ふえた。三万ということでございします。

高工観光課長（山田俊康君）勤労者厚生対策預  
託金、これは従前やつておりましたように、労働金  
庫に預託いたしまして、労働者が借り入れする  
とき、使益に充てている。特に館山市民である労  
働者の資金、いろんな住宅資金とか、生業資金  
とか、いろんな資金がございしますけれども、それぞ  
れの貸し付けに当って、特段の配慮をはかつて貸し

おしをしてもううために労金に預託しているものであります。

一四番(遠山ヨネ子君)ニニておっしゃった労働者というのは労働者ニう前に書いてございします。要するに館山市民でありさえすればこれが借りらるわけではございません。

勤労者というのは特定の人ではないんですか。それからもう一つ一般市民全部借りられますか。

高工観光課長(山田俊康君)ニう貸し付けに当りましては一定労金に加盟している勤労者ということになっております。先ほど市長から説明がありましたように勤労者福祉協議会の補助金三千万の方です。これは勤労者福祉協議会にわけり加盟してところが現実の問題としては労金に加盟するに

当たり前では組織労働者が加盟しております。

福祉協議会の方は未組織労働者でも加入できる  
というところでその点がちよとかわっております。

一四番(徳山ヨネ子君) そうしますとこちらでは三つの  
二ん方にちよと普通の商店とか、中小企業に勤めて  
いる方なんかも同じ勤労者だと思つて。

私三ついうことを言われておりますために三ついう  
質問をするわけですけれども三々に地区別に入ら  
ない。はつきり申し上げて三ついうあれがあるが、す  
私よく知つてゐる東京都の児童学園にいきますかと  
よく言われるんです。税金を館山市に我々は七千人、  
職員で納めてゐる。それなのに私たちは月金がない。  
念のため組合のあれを聞きまうたら、この人たちは  
は東京都から取つてゐるかもしれないが館山市

「福利厚生施設補助、そういうものには関係ない  
 というんです。ところが東京都は、ご存じのように  
 児童をたくさん持っておりますから、たとえば船  
 形学校なんか東京都が協力をまわして、教室を建  
 てたり、そういうことをよくする。そういう声も聞  
 きます。」

ここにあらうようにこちら側、勤労者には、還元さ  
 ないわけです。こゝろ人たちが中でもおそらく中小企  
 業の方でも、税金は納めていゝと思ひう。

私は市民として、みんなが公平にいたがいて、特定  
 こゝろ、補助金がさつきおつたように補助金  
 は、こゝろ、ふうに使われているか、こゝろを見ますと  
 矛盾を感じます。こゝろ、こゝろ、質問をさして、こゝろ  
 だきこゝろ。

二五番(田村源治郎君)二点伺いたいと思います。

五九ページ、事務改善の推進費でありますか。これは全職員に対する事務改善費が一万二千円であるか。それとも館山市として事務改善は全般のものがあるか。形式的なものもあるか。この点をお願いしたい。それから二三ページ婦人会館。これが十八万九千円、館山市の管理する婦人会館である。現在婦人会館は館山婦人部で結構利益を上げてゐる。婦人部が利用してかなり利益を上げてゐる。この婦人部から幾らお金をももらってまだ足りないで十八万九千円組んでやつてゐるか。その点をお願いしたい。

人事課長(小沢正治君)御質問の第一点でございます。提案制度の報償費一万二千円について、一応事務

改善を推進して参りました。この事務改善は昭和三十一年四月一日に現在のような状態に大改善を実施したわけでございますけれども、この改善の理念は日々改善でございます。こういう体制をさらにいっそう高度化して市民のために福祉向上のためにどうしようかということにつきましては、職員全員がそういう態度でこれに努める必要があるわけでございまして、各職員がその立場、立場において、いろいろ改善策についていろいろと創意工夫、研究検討をなして参る。その中でその創意工夫が積極的の提案になります。それからが改善向上のために資せられるようにお互いに努力していくというのが基本理念でございます。そういう提案がなるべく積極的により多く出てくるということが望ま

— いわけてございますけれども、なかなか、そういう点に  
スペースに出てこない。そういう関係で積極的にな  
れを奨励する意味で、そういう提案がなされて  
改善に結びつく優秀な効果的な提案が、出た  
場合に役所の職員で当然、市から給料をい  
ただいてゐるわけですから、それはそれでいいようなもの  
でございますけれども、こういう努力、工夫等にお  
きまして、一応御芳志を上げて、そうしてさらに、そう  
いった方向の熱意、研究、努力、というものを推  
奨して参りたい。そういう関係で従前、実例と  
出ておりませんので、一応、一万二千円という額を計上  
いたした次第でございます。

そういった関係で、二、三が積極的に参り多く出て  
参り、また場合によっては、その時点でさらに補正を

願ひしてという場合もあり得るかと思ひますけれども、現在う段々階では月額一千円程度の報償費ということで一カ年分一万二千円を計上いたし、改算でございます。

。社会教育課長（源間利一君）婦人会館につきまゝてお答え申し上げます。

四十三年度婦人会館費といつて、十八万九千円を計上いたしてございすが、この財源内訳は特定財源ということとで、その他にはありませんが、この収入見込みは、館山市婦人会館使用条例に基づきます。あそこが婦人会館の使用料の四十三年度見込み額を十八万九千円を見込み、まゝに見合ふ程度を必要経費を計上したという形になつてゐるわけでございします。確かに一見大きな建物でございすが、



入ろう新しい建物とそれより前の建物とつながってお  
るわけでございますが、前の建物を一応旧館と呼ん  
でこれを社会教育課で主管しております。現在  
婦人会館と区分—新しい新館といた—ま—て  
こは従前館山婦人団体連絡協議会の管理  
にまします建物というふうに建物そのものはつな  
がっておりますが、財産区分は区分されておるわけ  
でございます。従いまして旧館に関する限り社会  
教育課の主管に関する婦人会館の使用につき  
ま—ではあくまでも館山市婦人会館使用料系  
例にま—て使用料を徴収いたしておるわけござい  
ます。が、ただ—あれが建ちます。経緯につきま  
して地元婦人団体の積極的な協力があつた  
というふうなことから詳細検討いたします中

その中に役務費の中に通信運搬費が計上いた  
たしてございせんか。あそこで使う電話は旧館  
にございすが、この電話料は金額婦人会が負  
担するというたてまえになっております。ただ  
外來者が使った場合には外來者の自己負担  
なお、修繕費には四万一千円計上いたしてござ  
いますか。一応たたみう表がえとか、ガラス破損の  
修理とかそういうものがあるわけでございますか。  
ここにございます四万一千円はカーテンの年次計画  
にまいります。修繕料でございまして、それ以外にも  
あそこを料理教室で使うとか婦人会で使うとい  
うことで婦人会の方の持ち出し予算で相当あそこ  
を修理して置くというふうな実績でございますか。  
大体十八万九千円の収入見込みの中で相当額十八

九月で維持可能であるというふうに計上をお願い  
してあるものでございます。以上でございます。

議長（吉田勇治郎君）暫時休憩いたします。

午後七時十分 休憩

午後七時十七分 再開

議長（吉田勇治郎君）休憩前に引き続き本議を用  
さします。

一四番議員さんの質問に村ーまー、答弁さしたま  
でございまして、答弁に当局より訂正の申し出があり  
まーた、暫時発言を許します。

商工観光課長（山田俊康君）勇金、利用につきまーて  
組織勤務者というふうなことをお話し申し上げまー

なければ、資金の場合には、本組織勤労者でも、  
 資金を運用できること、御了解いただきた  
 いと思います。なお、本組織勤労者資金、新たに  
 本年度三十万を予定しております。勤労者福祉協議会  
 に加入していただきますと、この福祉協議会資金を  
 が将来或いは一人一人の個人事業者であつても  
 加盟できる。一かもそう上に二に加盟しますと、資金  
 も丈夫に利用できる。だ、東京都の職員云々とい  
 うようなこともありまして、たけれども、それから人たちも  
 十分利用できる。勤労者福祉協議会資金は  
 千葉県において、こういう組織がありまして、この組  
 織から、安房地方の勤労者、福祉というために  
 補助金等も流れて参っております。  
 本組織勤労者、福祉活動を活性化するため

と、いうことで、勤労者福祉協議会ができてくるのであります。

議長（吉田勇治郎君）おはかりいたします。

歳入の部、質疑は二、四で打ち切りと一、歳入の部、審議に進みたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（吉田勇治郎君）異議なしと認めます。よろしく、歳入の部、質疑を行ないます。

本日の会議はこれにて是会といたします。

次会は明三月二十二日午前十時開会といたします。その議事は本日に引き続き議案第四号乃至第十号昭和四十三年度各会計予算案、質疑を継続いたします。

長時間

くろうさまでございよう。

午後七時三十分

延会

本日の会議に付いた事件

一 議事日程に同ト

出席議員

吉田 勇 治 郎

嶋 田 石 蔵

伊 賀 多 朗

磯 田 博

藤 田 益 治

白 熊 益 太 郎

黒 川 正

三 帯 勇

西 村 真 次

菊 井 敏 博

小 柴 孝

山 田 教 宇

遠 山 三 子

石 井 正

五十嵐 昇

江田 徳太郎

安西 益男

島野 茂樹郎

中村 省吾

関 武夫

小澤 忠太郎

飯田 義男

田中 稔郎

田村 源治郎

秋山 大三郎

安 天徳順

望月 照正

山口 康

大席議員

石井 輝久

鈴木 市蔵

出席説明者

一 第一日目と同ト

出席事務局取員

一 第一日目と同ト

